

取引所FX



システム 365

操作説明書②



はじめに

お客様がFXブロードネット365の「シストレ365」を利用する場合にあたっては、お客様の責任のもと使用機器及び回線をご準備頂く必要がございます。

パソコン	OS	Windows Vista	Windows 7 ・ 8.1	Windows 10	
	メモリ	推奨1GB以上			
	ディスク	100MB以上			
	ディスプレイ	解像度1024×768以上、256色以上			
	ブラウザ	Internet Explorer 6 以上			

※1台のパソコンで同時に複数ログイン、また同一のログインIDを使用し、複数のパソコンより同時にログインすることはできません。同時にログインを行った場合は障害が発生する可能性がありますので行わないで下さい。

目次

1.お取引を始める前に	1-4
2.ログイン方法	5
3.シストレ365のバージョンアップ	6-7
4.シストレ365の画面構成	8-14
(1)初期画面	8
(2)メインメニュー	9
(3)ツールバー	9
(4)取引レート画面	10
(5)チャート画面	11-12
(6)ポジション画面	13
5.チャート設定	15-32
(1)チャートの追加	15
(2)テクニカル指標の設定・変更	17
(3)表示・オブジェクトの設定	23
(4)チャートの印刷・保存	29
(5)チャートのモード	32
6.自動売買システム	33-50
(1)システム設定	33
(2)バックテスト	38
(3)自動売買	48
7.その他の機能	51-53
8.便利な機能	54-58

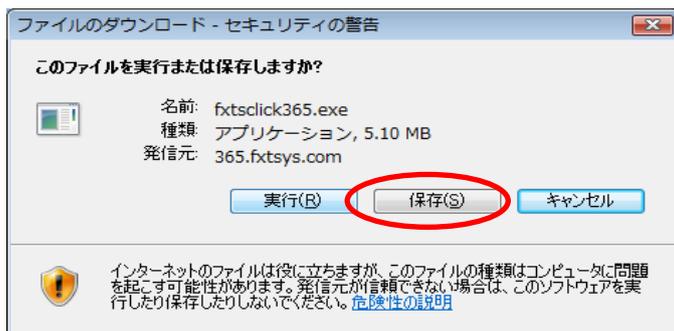
1. お取引を始める前に

シストレ365のインストール手順

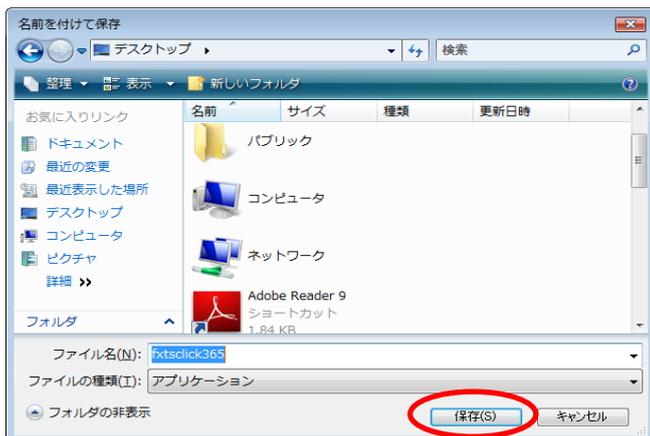
「シストレ365」をご利用いただくには、専用ソフトのインストールが必要となります。
 口座開設完了後、「FXブロードネット365」ホームページにアクセスし、ソフトをインストールして下さい。
 (シストレ365ダウンロードページURL : <http://365.fxtsys.com/login/>)



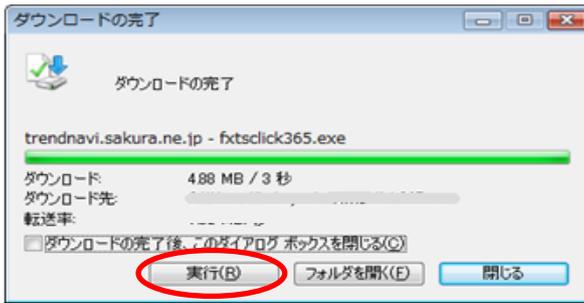
①「シストレ365」ダウンロードページを開き、下のほうにページをスクロールさせると左記画像の箇所があるので赤枠のボタンをクリックします。



②インストーラダウンロードURLをクリックすると左記ダウンロード画面が表示されますので、「保存」をクリックします。



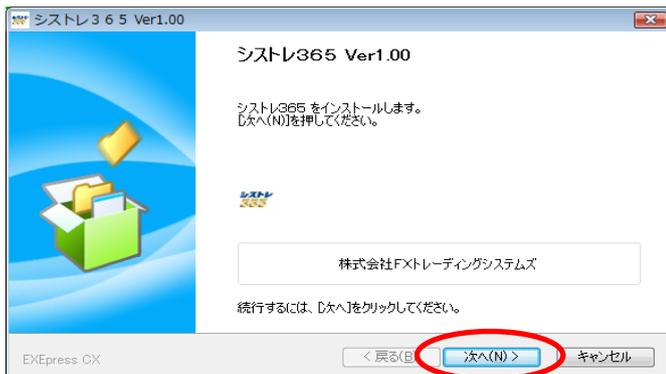
③保存先を選択し、「保存」をクリックします。



④ダウンロードが完了しましたら「実行」をクリックします。



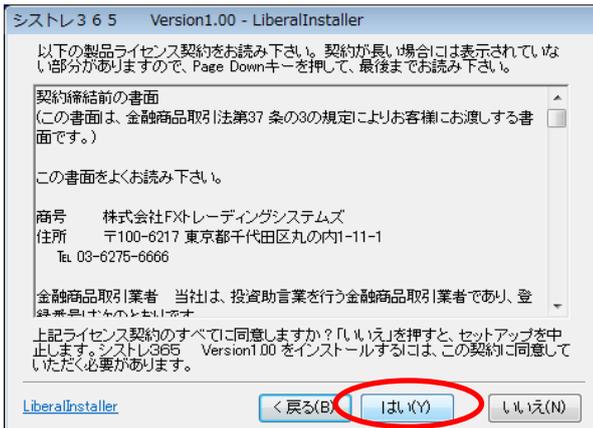
⑤セキュリティの警告画面が表示されましたら「実行する」をクリックします。



⑥「次へ」をクリックします。



⑦「次へ」をクリックします。



⑧利用規約をお読み頂き、同意頂けるようでしたら「はい」をクリックします。



⑨「次へ」をクリックします。



⑩「次へ」をクリックします。





⑪「開始」をクリックします。



⑫左記画像が表示されればインストールは完了です。
インストールが完了するとデスクトップ上にアイコンが作成されます。

2. ログイン方法

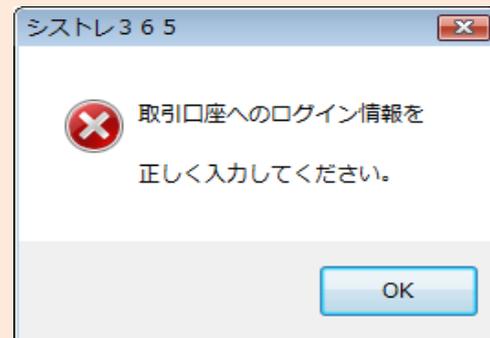
シストレ365のインストールが完了するとデスクトップ上にアイコンが作成されます。シストレ365を起動すると、ログインID・パスワードの入力画面(下記画面)が表示されますので、以下の手順でログインをして下さい。

1. ログインIDを入力する。
『口座開設手続き完了のご案内』に記載されているIDを入力して下さい。
2. パスワードを入力する。
FXブロードネット365取引プラットフォームのログイン画面からパスワードを取得して頂き、パスワードを入力して下さい。
(パスワードの取得方法は、FXブロードネット365プラットフォーム操作説明書をご参照下さい)
3. 「保存して閉じる」をクリック。

ログインができないときは・・・

「保存して閉じる」ボタンをクリック後、エラー画面が表示され取引画面にログインできない場合は、ご入力頂いたログインID・パスワードが間違っている可能性があります。

- ※ログインID・パスワードは半角英数入力です。
(アルファベットは半角英数の大文字入力です。)
- ※お客様番号とログインIDは異なります。システムへのログインはログインIDを入力して下さい。
- ※前後にスペースが入っていないかご確認下さい。



※ご注意※

端末の設定時間を必ずご確認下さい。
シグナルの分析はお取引をされるお客様の端末の時間で取引プラットフォームにログインします。そのため、お客様の端末の時間とFXTSサーバーの時間に差異がございますとご注文が正常に発注されない場合がございます。シストレ365をご利用の際は、端末の時間を正確に設定の上お取引頂きますようお願い致します。

3. シストレ365のバージョンアップ

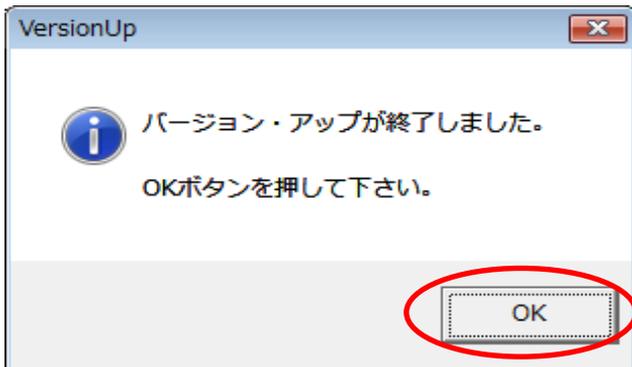
バージョンアップ

シストレ365では、取引システムを向上させるためのバージョンアップが行われます。バージョンアップは、シストレ365起動時に自動で行われますので、基本的にはお客様に操作して頂く必要はございません。

シストレ365を起動すると自動でバージョンアップが始まります。



バージョンアップが完了すると下記画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックするとシストレ365の取引画面が表示されます。



バージョンアップは自動的に行われますが、手動でバージョンアップを行う場合には「データ管理」→「バージョンアップ」より行います。

その他のデータ管理

データの更新等は自動で行われますので、基本的にお客様に操作して頂く必要はございませんが、手動で操作される場合にはメインメニューにある「データ管理」より行います。

※バックテスト用の「取引レートデータ」は、バックテストを開始する前に、こちらのメニュー、または、シミュレーション画面(P.36参照)から「取引レートデータ更新」を実行して、最新データを取得して下さい。



①取引レートデータ更新

値段データは「データ更新」ボタンを押すと、インターネットで自動更新されます。

データは、毎日、朝7:15頃に更新されています。

サーバーのデータが更新される前にデータ更新を行うと、取得されたデータが前日のままで更新されていない場合

②データエラー修正

管理者から指示があった場合にこのメニューでデータ修正を行います。

システム上のデータエラー修正はシステムが自動で行いますが、自動的に処理出来ないエラー、例えば、ファイルが壊れた場合などは、一度当社までご連絡下さい。必要に応じて対応させて頂いたのち、「データエラー修正」でご対応させて頂く場合がございます。

③バックテスト用データ初期化

データファイルが壊れてチャートが正しく表示されない場合は、データを初期化して正しく表示されるようにします。

4. シストレ365の画面構成

(1)初期画面

シストレ365へログインすると下記画面が初期画面として表示されます。



《表示画面の説明》

①メインメニュー

シストレ365の基本メニューです。
各種設定や変更などはこちらのメニューから行います。

②ツールバー

システムに接続する際や自動売買を開始・停止する時などこちらのアイコンからワンクリックで簡単に操作することができます。

③取引レート画面

各通貨ペアのレートを表示します。
取引レートは45秒ごとに更新されます。(システム切断時には更新されません。)

④チャートツールバー

チャート画面の各種設定を行います。

⑤チャート画面

相場の値動きをグラフ上で確認できます。
チャートグラフは30秒ごとに更新されます。(システム切断時にはチャートは更新されません。)

⑥ポジション画面

保有中のポジションの詳細、口座の状況、取引履歴などを確認することができます。

(2)メインメニュー

シストレ365の基本メニューです。各種設定や変更などはこちらのメニューから行います。

※メインメニューから各種設定や変更を行う際は、設定を変更したい画面が選択されている状態で操作を行って下さい。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) データ管理(D) 分析(A) グラフ加工(G) 自動売買シグナル検索(S) ウィンドウ(W) リンク(L) 設定(S) ヘルプ(H)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

- ①ファイル・・・作成したチャートを保存・表示したり、チャートの印刷メニューを表示します。
- ②編集・・・チャートに表示されているデータをコピーしたり、チャート画面をコピーする機能を表示します。
- ③表示・・・フォントサイズの変更や各画面を表示する、取引画面をデフォルトに戻すなどの機能を表示します。
- ④データ管理・・・バージョンアップやデータ更新等を手動で行う際のメニューを表示します。
(基本的にお客様に操作して頂く必要はございません)
- ⑤分析・・・チャートを新たに追加する際や、シミュレーションを行う時に利用するメニューを表示します。
- ⑥グラフ加工・・・チャート上にオブジェクトを描画したり、チャートに新たな機能(テクニカルチャート等)を追加します。
- ⑦自動売買シグナル検索・・・作成した売買ルールの最新の売買シグナルを取得します。
- ⑧ウィンドウ・・・画面の配置のパターンを変更します。
- ⑨リンク・・・サーバーへの接続・切断の切り替えやFXブロードネット365のホームページを表示します。
また、自動売買の運転もこのメニューから行うことができます。
- ⑩設定・・・チャート画面の各種設定や自動売買の設定などを行うことができます。
- ⑪ヘルプ・・・シストレ365からのお知らせ、操作マニュアル、よくある質問、バージョン情報を確認することができます。

(3)ツールバー

システムに接続する際や自動売買を開始・停止する時などこちらのアイコンからワンクリックで簡単に操作することができます。

接続 切断 自動運転 運転停止 チャート システム設定 シストレ365分析 シミュレーション ワークスペース 自動売買 保存 ポジション 取引レート

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

- ①接続・・・(接続中は取引レートやチャートなどの各画面が一定間隔で自動更新されます。)
- ②切断・・・(切断中は取引レートやチャートなどの各画面が自動更新されません)
- ③自動運転・・・設定されている自動売買を開始します。
- ④運転停止・・・自動売買を停止します。
- ⑤チャート・・・チャートを表示します。
- ⑥システム設定・・・売買ルールを作成・編集します。
- ⑦シストレ365分析・・・各種分析パターンを表示します。
- ⑧シミュレーション・・・作成した売買ルールでシミュレーションを行います。
- ⑨ワークスペース・・・取引画面全体の表示を保存状態に戻します。
- ⑩自動売買・・・自動売買の設定をします。
- ⑪保存・・・ワークスペース(画面の状態)を保存します。
- ⑫ポジション・・・ポジション画面を表示します。
- ⑬取引レート・・・取引レート画面を表示します。

(4)取引レート画面

通貨ペア別の為替レートや取引可能な枚数が確認できます。



通貨ペア	売 ①	買 ②	売気配数 ③	買気配数 ④	時間 ⑤	ペアID
米ドル/円	83.02	83.04	5691	5695	2010-12-24 12:30:33.000	USDJPY
ユーロ/円	109.01	109.04	1994	1700	2010-12-24 12:30:46.000	EURJPY
ポンド/円	128.16	128.21	596	1600	2010-12-24 12:30:22.000	GBPJPY
豪ドル/円	83.25	83.28	2700	490	2010-12-24 12:30:46.000	AUDJPY
カナダドル/円	82.35	82.39	1200	1300	2010-12-24 12:30:22.000	CADJPY
NZドル/円	62.07	62.11	3400	3900	2010-12-24 12:30:42.000	NZDJPY
スイスフラン/円	86.80	86.85	1000	100	2010-12-24 12:30:49.000	CHFJPY

<アイコンの説明>

文字拡大

A 文字を大きくします。

文字縮小

A 文字を小さくします。

太字

B 文字を太字にします。

最新のデータに更新

新 最新のレートに更新します。

ツールバーの非表示

X ツールバーを非表示にします。

<表示項目の説明>

- ①売 …… 表示時刻(⑤)時点の売りレート
- ②買 …… 表示時刻(⑤)時点の買いレート
- ③売気配数… 売気配の取引可能な枚数が表示されます。
- ④買気配数… 買気配の取引可能な枚数が表示されます。
- ⑤時間… …… BidまたはAskのレートを更新した時刻(時分秒)が表示されます。

※ご注意事項※

取引レート画面に表示される為替レートや気配数などはリアルタイムで更新されません。
 その為、取引レート画面に表示されるレートと実際の為替レートでは異なる場合がございます。
 最新のレートをご確認頂く際は、取引レート画面にございます **新** ボタンをクリックして下さい。

(5)チャート画面

相場の値動きをグラフ上で確認できます。
また、チャート画面には多数のテクニカルチャートを表示して頂くことも可能です。



<アイコンの説明>

①周期

日足 ▼ 表示する周期を変更する場合にクリックします。
10分足・30分足・1時間足・4時間足・日足・週足から選択します。

②通貨

通貨 通貨ペアを切り替えたい場合にクリックします。

③シグナル

シグナル チャート上に強気・弱気の売買シグナルを表示(非表示)します。

④表示間隔拡大

拡大 表示されたチャートの間隔を拡大します。

⑤表示間隔縮小

縮小 表示されたチャートの間隔を縮小します。

⑥画面を左へ移動

移動 チャートを左へ移動させます。

⑦左へスクロール

 チャート画面を左へ1データずつ移動させます。

⑧右へスクロール

 チャート画面を右へ1データずつ移動させます。

⑨画面を右へ移動

 チャートを右へ移動させます。

⑩全期間表示

 現在表示されているチャートで読み込まれているデータ期間の最初から直近までを表示します。

⑪チャートを元に戻す

 変更された表示期間や位置、文字サイズなどを最初に表示された状態に戻します。

⑫ズームイン

 一部の期間を拡大して表示します。
拡大する範囲の端でマウスの左を押し下げ、他方の端までマウスを移動させてボタンを離します。

⑬データ

 十字カーソルで合わせた日(時間)の4本値やテクニカル値がチャート画面右側に表示されます。

⑭十字カーソル

 クリックするとカーソルが十字に変わります。
ロウソク足の上にカーソルを合わせるとその日(時間)の4本値、前日比、短期線、中期線、長期線が画面左下に表示されます。

⑮値段・日付表示

 チャート上に天井・底値の日付と値段を表示します。

⑯レイアウト変更

 画面のレイアウトを変更します。
チャートの数により2~5タイプから選択可能です。選択されたタイプは次回からのデフォルトタイプになります。

⑰自動指標表示

 シグナル表示したときにテクニカルを連動表示(非表示)します。

⑱文字拡大

 文字のサイズを拡大します。

⑲文字縮小

 文字のサイズを縮小します。

⑳太字

 文字を太字にします。

㉑シグナルサイズの変更

 チャートに表示する売買シグナルのラインの太さを変更できます。太さは5段階になっています。

(6) ポジション画面

◆ポジション一覧

現在保有している建玉の一覧が確認できます。

注文番号	通貨ペア	売/買	取引枚数	約定R	最新R	トリガー	指値	評価損益	約定日時	ポジション番号
1399	EURJPY (ユーロ/円)	売	1	109.03	108.91			1200	11-01-06 17:01	408
1237	GBPJPY (ポンド/円)	売	1	127.88	129.10			-12572	10-12-24 22:00	348
1387	AUDJPY (豪ドル/円)	買	1	82.93	82.86			-160	11-01-04 19:00	404

- ①注文番号…対象取引における新規注文番号が表示されます。
お取引に関してお問合せを頂く際には当該番号をお知らせ下さい。
- ②通貨ペア…取引を行った通貨ペアが表示されます。
- ③売/買 ……ポジションが買いか売りかの区別を表示します。
- ④取引枚数…取引した数量が枚数で表示されます。
- ⑤約定R ……新規取引の約定レートが表示されます。
- ⑥最新R……最新の損益を計算するレートが表示されます。
ポジションが売り取引(新規売り)の場合は、決済は「買い」となりますのでその時点の買いレート、
買い取引(新規買い)の場合は、決済は「売り」となりますので、その時点の売りレートが表示されます。
- ⑦トリガー……対象ポジションに対して決済逆指値注文がある場合、指定したレートが表示されます。
- ⑧指値……対象ポジションに対して決済指値注文がある場合、指定したレートが表示されます。
- ⑨評価損益……現在の該当ポジションでの売買損益+スワップが円貨で表示されます。
- ⑩約定日時……対象の注文が約定した日時が表示されます。
- ⑪ポジション番号……システムが自動売買で使用するポジション固有の番号が表示されます。

◆オーダー一覧

指値・トリガー注文の注文状況を表示します。

注文番号	通貨ペア	売/買	取引名	取引枚数	指定レート	注文種類	発行日時	新規注文番号	注文状況
6966	USDJPY(米ドル/円)	売	決済	1	76.00	トリガー	11-09-07 11:42	6964	注文中
6965	USDJPY(米ドル/円)	売	決済	1	78.00	指値	11-09-07 11:42	6964	注文中

- ①注文番号…対象取引における注文番号が表示されます。
お取引に関してお問合せを頂く際には当該番号をお知らせ下さい。
- ②通貨ペア…取引を行った通貨ペアが表示されます。
- ③売/買 ……ポジションが買いか売りかの区別を表示します。
- ④取引名……注文の内容により、「新規」または「決済」が表示されます。
- ⑤取引枚数……注文した数量が枚数で表示されます。
- ⑥指定レート……「指値」、「トリガー」の指定レートが表示されます。
- ⑦注文種類……通常・指値・トリガー等が表示されます。
- ⑧発行日時……該当の注文が登録された日時が表示されます。
- ⑨新規注文番号……決済注文の場合、対象の新規注文番号が表示されます。
- ⑩注文状況……指値等の注文が登録されている場合、「注文中」と表示されます。

◆口座照会

現在の口座状況を確認します。

顧客コード	口座資産	評価損益	有効証拠金	取引証拠金	新規注文可能額	スワップ	返還可能額	口座維持率(%)
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

- ①顧客コード……お客様番号が表示されます。
- ②口座資産……お預け頂いた証拠金に、決済したお取引のスポット損益やスワップ損益を加算したものです。
- ③評価損益……現在レートで評価された損益額が表示されます。
保有ポジション全てのお取引におけるスポット損益＋スワップ損益－決済手数料の金額です。
- ④有効証拠金……口座資産＋評価損益＋未実現合計(※)－出金依頼額(※)が表示されます。
- ⑤取引証拠金……現在保有しているポジションの取引証拠金の合計が表示されます。
- ⑥新規注文可能額……有効証拠金－取引証拠金－注文中証拠金が表示されます。
- ⑦スワップ……今現在までの累計スワップポイントが表示されます。
- ⑧返還可能額……有効証拠金－(8)取引証拠金－(5)注文中証拠金が表示されます。
但し、未実現益・評価益があったとしても、(9)返還可能額は(1)口座資産の額が上限となります。
- ⑨口座維持率(%)……取引証拠金に対する有効証拠金の比率がパーセンテージで表示されます。
$$\text{有効証拠金} \div \text{取引証拠金} \times 100$$

※未実現合計、出金依頼額については「FXブロードネット365プラットフォーム」の口座状況画面よりご確認下さい。

◆取引履歴

過去の取引履歴を表示します。

注文番号	通貨ペア	売/買	取引名	新規R	新規日時	決済R	決済日時	取引枚数	損益	スワップ	純損益	注釈
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬

- ①注文番号……注文毎の注文番号が表示されます。
- ②通貨ペア……取引を行った通貨ペアが表示されます。
- ③売/買……対象注文の売りか買いかの区別を表示します。
- ④取引名……注文の内容により、「新規」または「決済」が表示されます。
- ⑤新規R……新規取引の約定レートが表示されます。
- ⑥新規日時……新規注文が約定した日時が表示されます。
- ⑦決済R……決済取引の約定レートが表示されます。
- ⑧決済日時……決済注文が約定した日時が表示されます。
- ⑨取引枚数……取引した数量が枚数で表示されます。
- ⑩損益……対象取引の売買損益が円貨で表示されます。【(新規約定レートと決済約定レートの差額) × 取引数量】
- ⑪スワップ……対象取引のスワップポイントが表示されます。
- ⑫純損益……損益＋スワップ－手数料(投資助言料)が表示されます。
- ⑬注釈……システムから特記事項があったときに表示されます。

※ご注意事項※

ポジション画面の「取引履歴」からは過去4日分の取引履歴しか表示されません。

過去4日を超える取引データをご覧になる場合は、FXブロードネット365プラットフォームの帳票からご確認下さい。

5. チャートの設定

はじめに

メインメニューを使ってチャートの設定や変更をする際は、チャート画面が選択されている状態で操作を行って下さい。チャート画面が選択されていない状態でメインメニューの項目を選択してもチャートの設定メニューが表示されません。

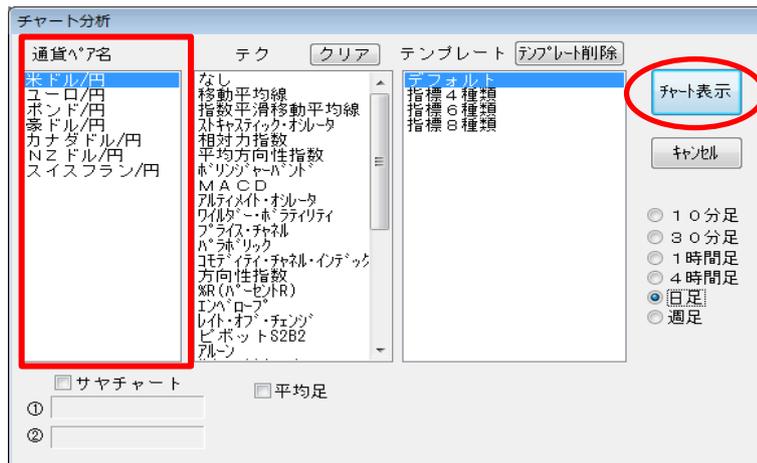
(1)チャートの表示

チャートを追加する

①メインメニューにある「分析」→「チャート表示」を選択頂くか、または、ツールバーの「チャート」を選択します。



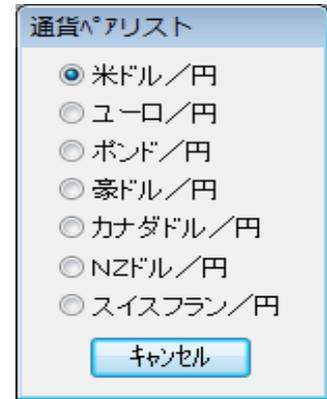
②追加したい通貨ペアを左端の通貨ペアリストから選択し、右端の「チャート表示」ボタンをクリックします。



※左記画面はチャート画面上で右クリックして頂き、「チャート表示」を選択することでも表示して頂くことができます。

通貨ペアを変更する

表示されている通貨ペアを変更する場合は、チャート画面が選択されている状態で、メインメニューにある「グラフ加工」→「通貨ペア選択」を選択し、通貨ペアリストから表示したい通貨ペアを選択します。
(チャート画面上部にある **グラフ加工** ボタンでも通貨ペア変更が出来ます。)



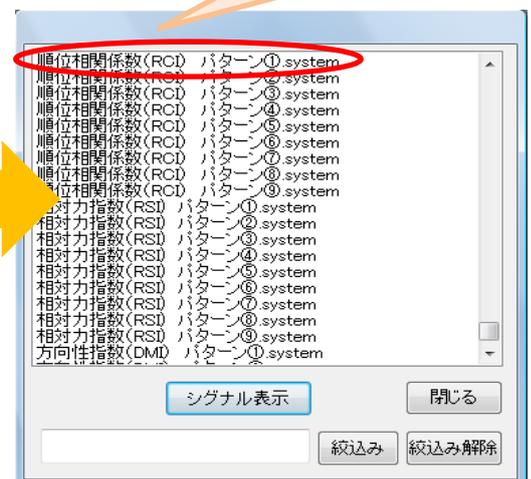
売買シグナルの表示

「売買シグナル」とは、シストレ365のオリジナルなテクニカル分析に基づく価格変動予想で、様々な局面で強気シグナル(上昇)と弱気シグナル(下降)をお知らせします。

売買シグナルを表示させる場合は、チャート画面が選択されている状態で、メインメニューにある「グラフ加工」→「シグナル表示」を選択し、売買シグナル一覧から表示したいシグナルを選択します。
(チャート画面上部にある **グラフ加工** ボタンでもシグナルの表示・変更が出来ます。)



売買シグナルの設定は
32ページ参照



(2)テクニカル指標の設定・変更

テクニカル指標を表示する

《シグナル設定時に連動して表示する場合》

テクニカル指標については、シグナル設定時に連動してテクニカルを表示することができます。

シグナル設定時に連動してテクニカルを表示する場合は、メインメニューにある「設定」→「画面動作設定」を選択し、画面動作設定画面の【自動テクニカル変更】項目のチェックボックスにチェックを入れ「OK」ボタンを押します。（チャート画面上部にある  ボタンでも連動の表示・非表示が設定出来ます。）

※デフォルトでは【自動テクニカル変更】項目のチェックボックスにチェックが入っています。

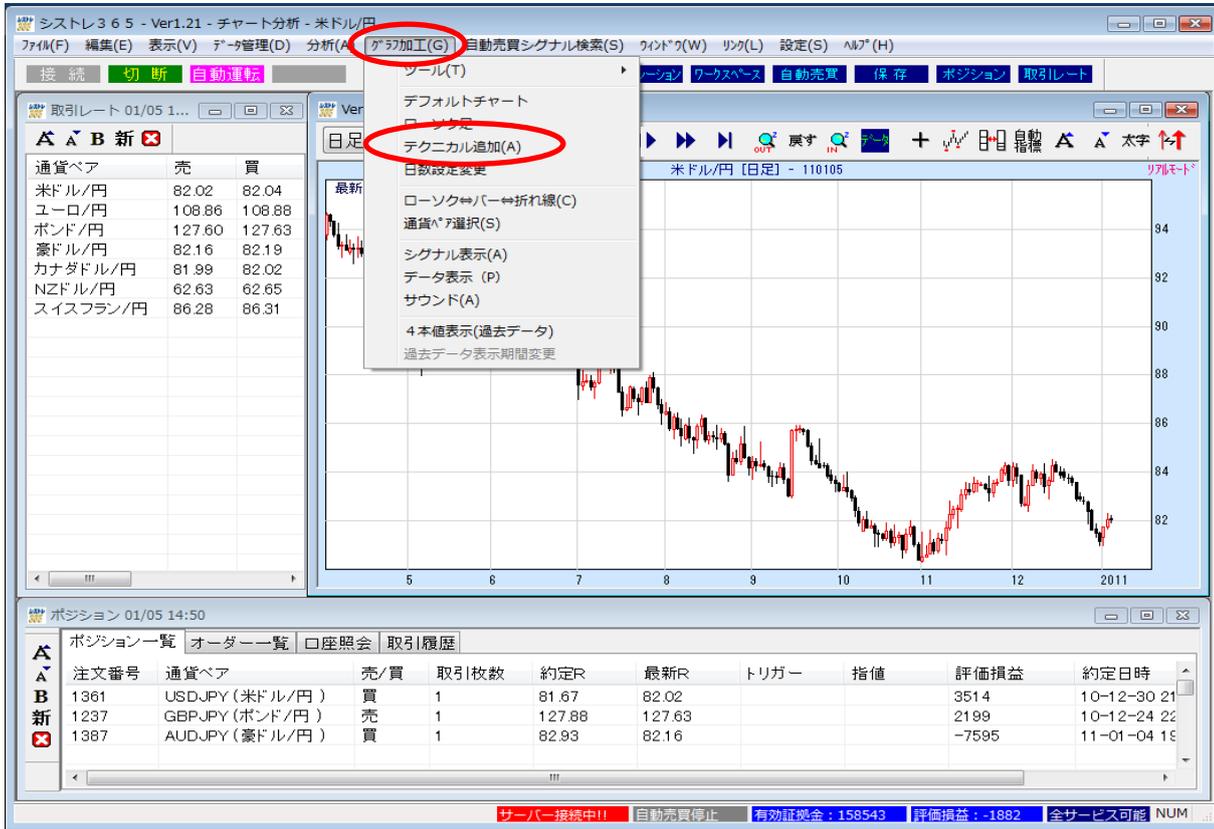


※ご注意※

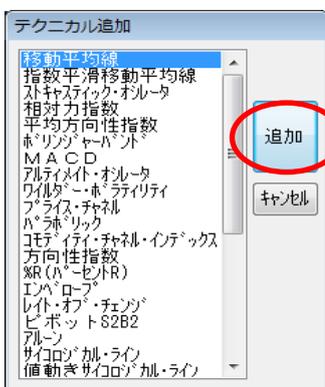
- (1) 表示されるテクニカルは、ルール他にシステム名や注釈にもテクニカル名が使用されていると、そのテクニカルも表示されます。
- (2) ローソク足と同じ領域に表示するトレンド系のテクニカルは、複数使用されていても、1種類のみ表示します。移動平均線以外のテクニカルを優先して表示します。

《シグナルに連動させず自分で任意のテクニカルを表示する場合》

- ①【シグナルと連動したテクニカル】から【任意のテクニカル】に変更する際は、自動テクニカル変更のチェックをはずしてください。
- ②チャート画面が選択されている状態で、メインメニューにある「グラフ加工」→「テクニカル追加」を選択します。（チャート画面上でマウスを右クリックするとメニュー表示され、そちらでも選択出来ます。）

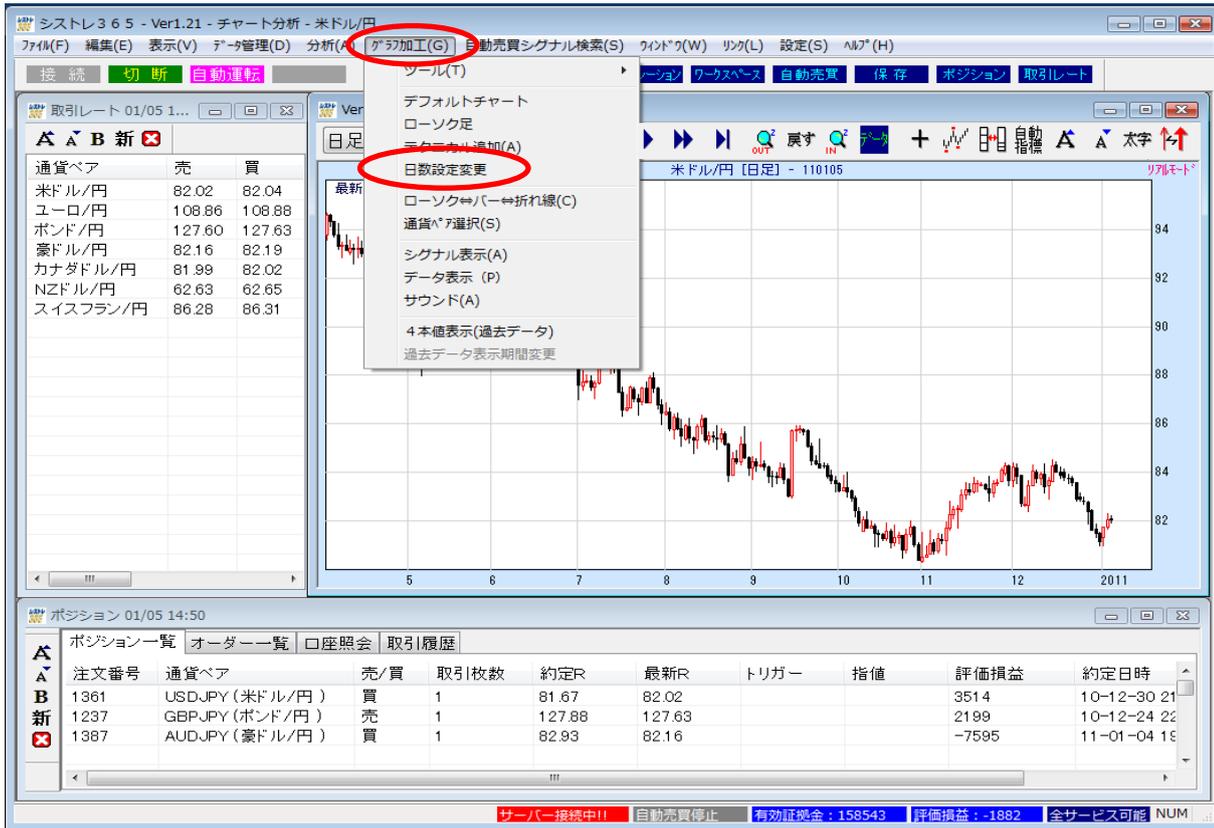


- ③表示または追加したい指標を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



テクニカル指標のパラメーター設定

- ①表示されているテクニカル指標の値を変更する場合は、チャート画面が選択されている状態で、メインメニューの「グラフ加工」→「日数設定変更」を選択します。



- ②「テクニカル設定」画面内でご希望の数値に変更したら、「OK」ボタンをクリックすると指標に反映されます。



テクニカル指標を変更・消去する

テクニカルを変更する

①表示されているテクニカル指標を別の指標に変更する場合は、変更したい指標が描画されているチャート枠の中でマウスを右クリックします。右クリックをするとポップアップメニューが表示されます。



POINT!

右クリックすると選択されたチャートの輪郭に影が表示され、どのチャートが選択されているかわかります。

②「テクニカル変更・消去」メニューを選択し、表示されるテクニカル指標一覧から変更したい指標を選択すると表示されていた指標が変更されます。



テクニカル指標を消去する

- ①表示されているテクニカル指標を消去する場合は、右クリックメニューの「テクニカル変更・消去」メニューを選択し「消去」を選択すると指標が消去されます。



指標を変更・消去するときは...

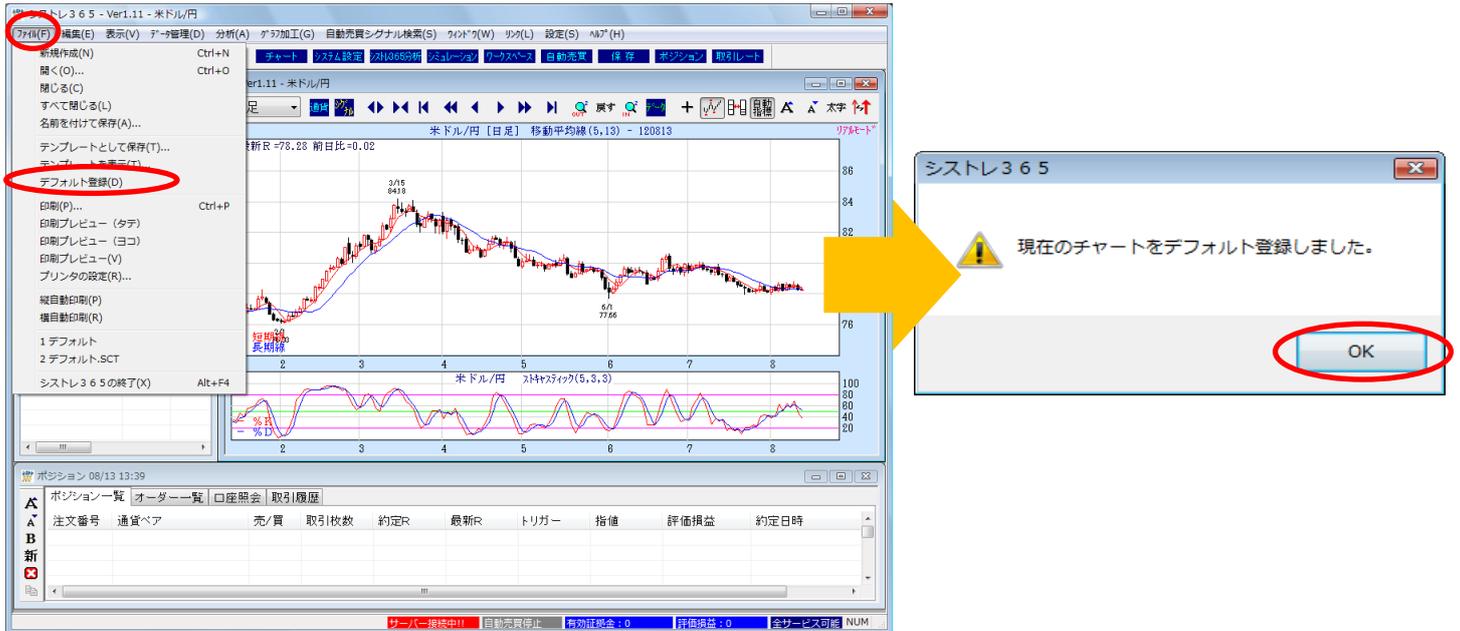


選択したチャートがローソク足の場合に表示される指標はローソク足に重ねて表示される移動平均線、一目均衡表やボリンジャーバンドなどです。

選択したチャートが相体力指数などの場合は、オシレーター系の指標リストが表示されます。

自分で設定したチャートをデフォルト登録する

現在表示しているチャート画面をデフォルトに登録する場合は、チャート画面が選択されている状態でメインメニューにある「ファイル」→「デフォルト登録」を選択することで可能となります。



(3) 表示・オブジェクトの設定

チャートプロパティ

チャート画面が選択されている状態で、メインメニューにある「設定」→「チャートプロパティ」からチャートのプロパティを変更することができます。ここでの変更は現在のチャートが表示中のみ適用されます。一部は起動中は有効になるものや設定が保存され次回起動時にも有効になるものもあります。

ご注意：チャートプロパティで設定変更したものは、シストレ365がサーバー接続中で、なおかつチャートがリアルモードの時はチャートが更新されると無効となってしまいます。(一部機能を除く)



矢印の太さ

売買シグナルの矢印の太さを変更します。

グリッド縦線・グリッド横線

グリッドを表示・非表示にします。

月毎

グリッド縦線の間隔を月数で設定します。

現在値表示

翌日価格逆算機能でチャート上に逆算価格を表示・非表示にします。(起動中有効)

縦軸最大・縦軸最小

グラフの最大値、最小値を調節できます。

天底値幅

天井・底に値段を表示する場合の値幅を設定します。

右スペース

チャートの最新日より右に空けるスペースを設定します。

ラインの太さ

指標に設定されたチャンネルライン、センターラインの太さを設定します。

影の濃さ

マウスを右クリックした場合に出来るグラフ枠の影の濃さです。

ローソク足の太さ

ローソク足の輪郭線の太さを設定します。

チャートフォントサイズ

チャート内のフォントのサイズを変更します。

陽線塗り潰し・陰線塗り潰し

ローソク足の内部を塗り潰すかどうかを指定します。(設定は保存)

テクニカル(1,2,3)線種

テクニカルチャートのラインのパターンを変更します。

テクニカルの太さ

テクニカルチャートのラインの太さを変更します。

フォントサイズ

情報ウィンドウ(展望など)のフォントサイズです。

目盛位置

縦軸の目盛りの位置を①右、②左、③なし、から設定します。(設定は保存)

情報ウィンドウ位置

情報ウィンドウの位置を①右、②左、③下、から選択します。(設定は保存)

チャートスタイル

ローソク足や指標を個別枠で区切るか連続させるかを設定します。(設定は保存)

クリックボタン

「OK」ボタンは右クリックで選択されたグラフにのみ適応されます。

「全てに適応」ボタンはチャート全体に適応されます。

チャートの表示設定

表示の変更

チャート画面が選択されている状態で、メインメニューにある「ウィンドウ」からチャートの表示方法や表示範囲を変更することができます。



①レイアウト変更

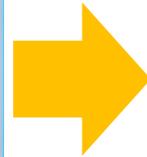
ひとつのウィンドウにチャートが複数表示されている場合にレイアウトの変更が可能です。2~4種類のレイアウトがあり、レイアウト変更を実行するたびに順にレイアウトが変わります。

②ズームイン～全期間表示

画面に表示するデータの本数を変更します。

天井・底日付&値段表示、フォント設定

メインメニューにある「表示」から、チャートの主要な天井・底に値段と日付を表示することができます。
また、フォントを設定することができます。



①天井・底日付&値段表示

チャートの主要な天井・底に値段と日付を表示することができます。

設定はチャートの目盛にあわせて自動的に行われ、1段階目は3目盛以上の値動き、2段階目は2目盛以上の値動き、3段階目は1目盛以上の値動きがある場所に表示されます。

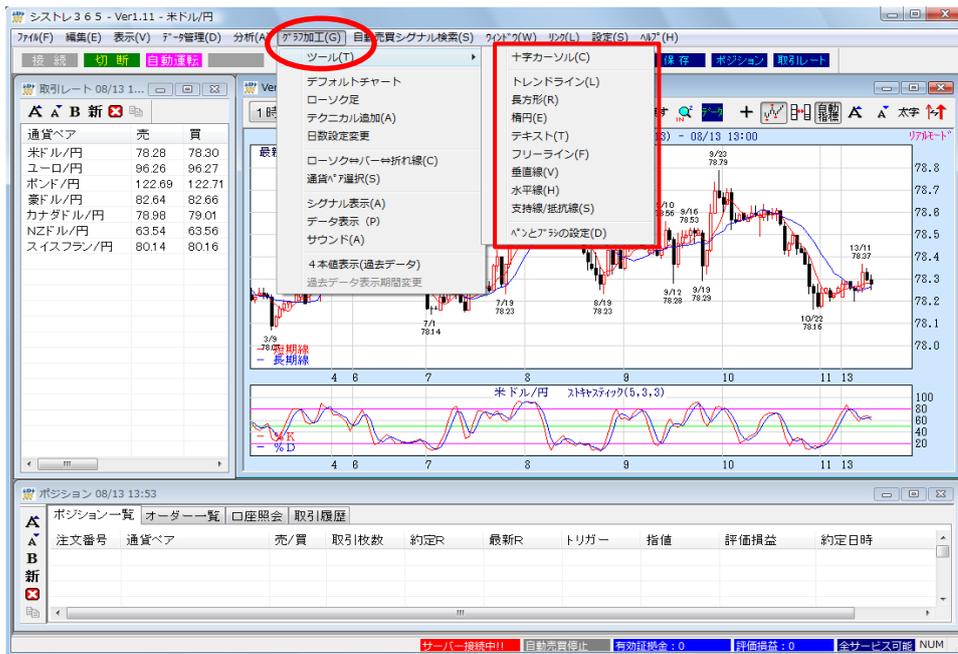
②フォントの指定～フォントの太さ

チャートのフォントの種類と太さを設定することができます。

変更された表示設定は「表示」-「チャートを初期設定に戻す」で元に戻すことができます。

チャートにオブジェクトを描画する

- ①チャート画面が選択されている状態で、メインメニューにある「グラフ加工」→「ツール」を選択すると描画が可能なオブジェクトが表示されます。



オブジェクトの種類

十字カーソル



トレンドライン



長方形



楕円



テキスト



支持線/抵抗線



垂直線



水平線



フリーライン



フリーライン(自由曲線)につきましては、チャートに図形として描かれるのではなく、一時的なマーカーなようなもので、チャートの表示期間を変更したり、フォントサイズを変更した場合は消えてしまいます。

カラー設定



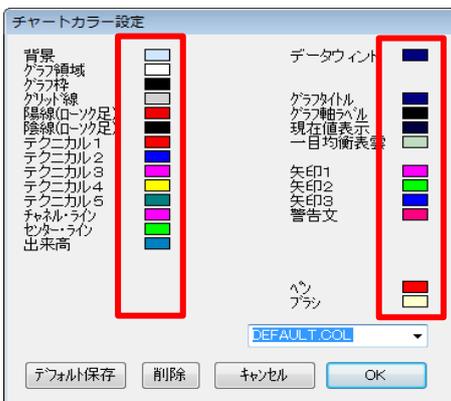
※上記画面はチャート画面上で右クリックして頂き、「カラー選択」を選択することでも表示して頂けます。

◆チャートのカラーパターンを変更する

- ①メインメニューにある「設定」→「カラー設定」を選択します。
- ②「チャートカラー設定」画面(左記画像)が表示されましたら、右下のカラーパターン・ファイルからファイルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

POINT !

変更を次回起動時にも利用する場合は「OK」ボタンではなく「デフォルト保存」ボタンをクリックして下さい。
カラーパターンファイルの名前はDEFAULT.COLとなります。



◆個別の項目の色を変更する

「チャートカラー設定」画面(左記画像)に表示されている項目については各項目ごとに色を変更することも可能となります。

- ①「チャートカラー設定」画面に表示されている現在の設定色(四角い枠)をクリックします。



- ②「色の設定」画面が表示されましたらご希望の色を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
「チャートカラー設定」画面で該当の項目の色が変更されていれば「OK」ボタンで画面を閉じると該当の項目の色が変更されます。

(4)チャートの印刷・保存

チャートを印刷する

現在表示しているチャート画面を印刷することができます。
チャートがアクティブになっている状態で、メインメニューにある「ファイル」を選択すると印刷メニューが表示されます。



印刷

このボタンから印刷や印刷のプロパティを変更することができます。

印刷プレビュー(タテ)/(ヨコ)

アクティブになっているチャートをタテ(ヨコ)に印刷プレビューします。

プリンタの設定

プリンタの変更や詳細設定を行います。

縦(横)自動印刷

アクティブになっているチャートを縦(横)位置で1枚印刷します。

チャートを保存する

◆名前をつけて保存

作成したチャートを保存することができます。
チャートに描画されたテキストやトレンドラインなどのオブジェクトも保存されます。

①メインメニューにある「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択します。



②ファイル保存画面で保存する名前を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



チャートのファイルは「設定」→「環境設定」の「チャート保存フォルダ」に設定されているフォルダに保存されています。保存されたチャートは、「ファイル」→「開く」で表示することができます。表示は最新日までのデータで表示されます。

POINT !

テンプレートとして保存するとツールバーの「チャート」メニューで、他の銘柄へ利用できます。但し、複数銘柄が表示されている場合はテンプレート保存しても銘柄変更はできません。

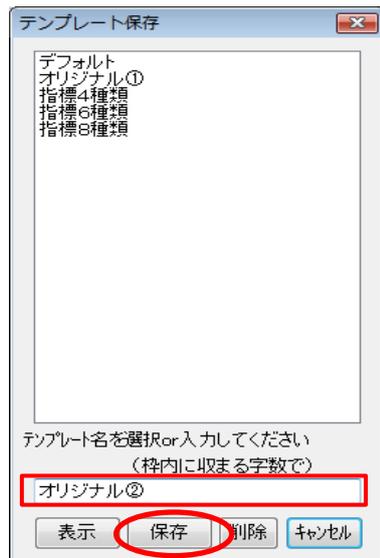
◆テンプレート保存

テクニカル指標の組み合わせパターンを保存し、チャート表示の際に保存されたテンプレートを表示できます。

①メインメニューにある「ファイル」→「テンプレートとして保存」を選択します。



②ファイル保存画面で保存する名前を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



保存されたテンプレートは、ツールバーの「チャート」→「チャート表示」で表示することができます。

(5)チャートのモード

チャートシステムには、「リアルモード」と「分析モード」があります。

◆リアルモード

サーバー接続中で、かつ最新の足が表示されている場合、チャートが自動更新されます。

◆分析モード

過去の足を表示した場合やチャートにトレンドラインなどのオブジェクトを描画した場合などは「分析モード」となりチャートは自動更新されません。



リアルモード

チャートが自動更新されます。



分析モード

チャートは更新されません。



6. 自動売買システム

(1)システム設定

売買シグナルを設定する

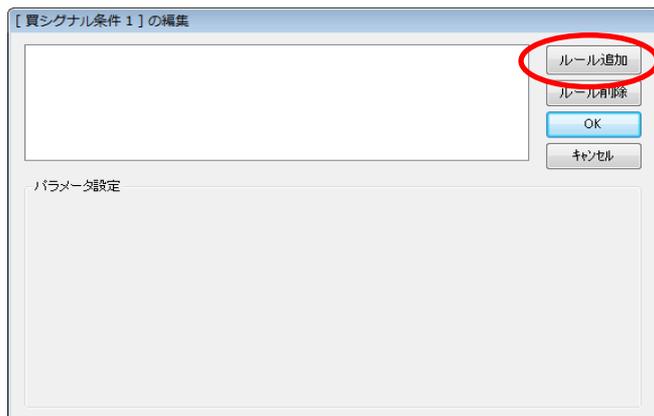
① ツールバーにある「システム設定」を選択します。



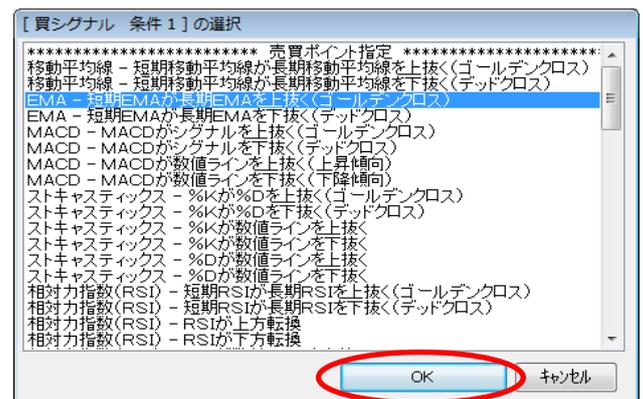
② 「新規作成」をクリックすると下記画面が表示されます。システム名を入力後、売買シグナルのタブを選択し、「条件追加」をクリックします。



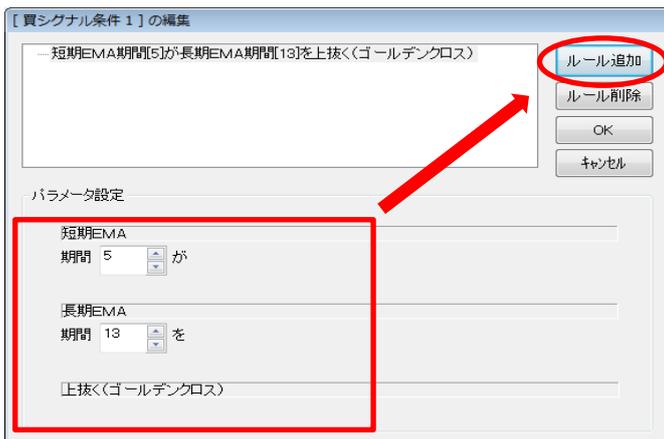
③ 編集画面で「ルール追加」をクリックします。



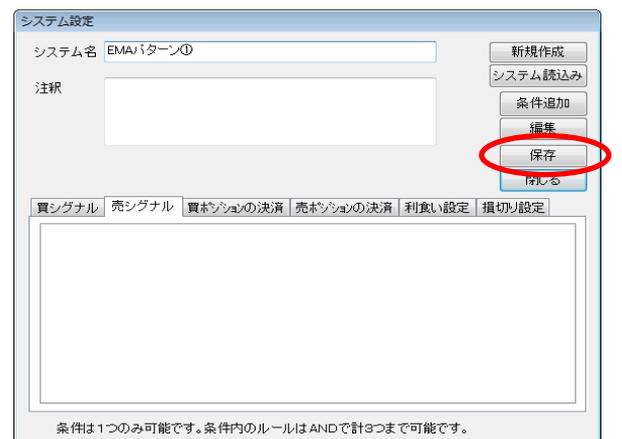
④ 売買ルールを選んで「OK」ボタンをクリックします。



⑤ 期間の設定をしたら「OK」をクリックします。



⑥ 設定が完了したら「保存」をクリックします。



条件内のルール

条件 1
 ...MACD期間[12],[26]がMACDシグナル期間[9]を上抜く(ゴールデンクロス)
 ...短期移動平均線期間[5]が長期移動平均線期間[20]を上抜く(ゴールデンクロス)

1つの売買シグナルに対し、設定できる条件は1つのみです。
 同じ条件内に複数のルールを設定した場合は条件内にある全てのルールを満たさないとシグナルは出ません。

※一つの条件内には最大3つまでのルールを設定することができます。

※ 利食い・損切り設定にて、「Pips」設定をする際のご注意 ※

米ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は「0.5Pips」刻み、その他の通貨は「1Pips」刻みの為、設定内容によっては、発注時に適切な値に設定が変更されます。

《0.5Pips刻みの米ドル/円の場合》

例) 利食い「40.2Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒ 売り決済・・・40.5Pips 買い決済・・・40Pips

例) 損切り「40.2Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒ 売り決済・・・40Pips 買い決済・・・40.5Pips

《1Pips刻みのポンド/円の場合》

例) 利食い「40.5Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒ 売り決済・・・41Pips 買い決済・・・40Pips

例) 損切り「40.5Pips」と設定した場合、以下の内容に設定されます。

⇒ 売り決済・・・40Pips 買い決済・・・41Pips

売買シグナルを編集・削除する

売買シグナルを編集する

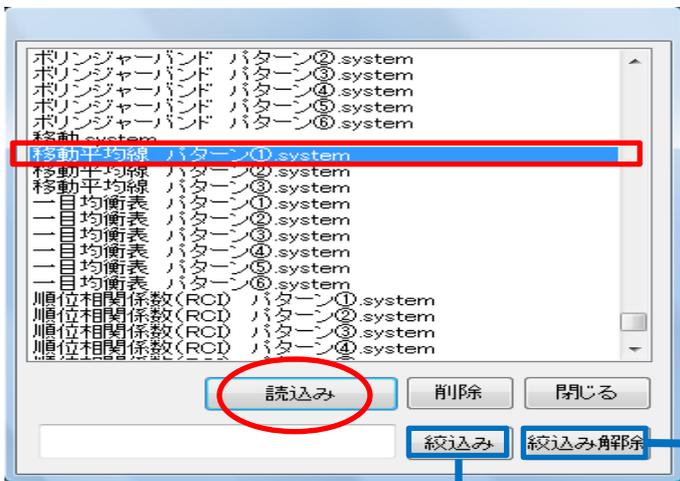
① ツールバーにある「システム設定」を選択します。



② 「システム読み込み」をクリックします。



③ 編集するシステム名を選択し、「読み込み」ボタンをクリックします。



POINT!

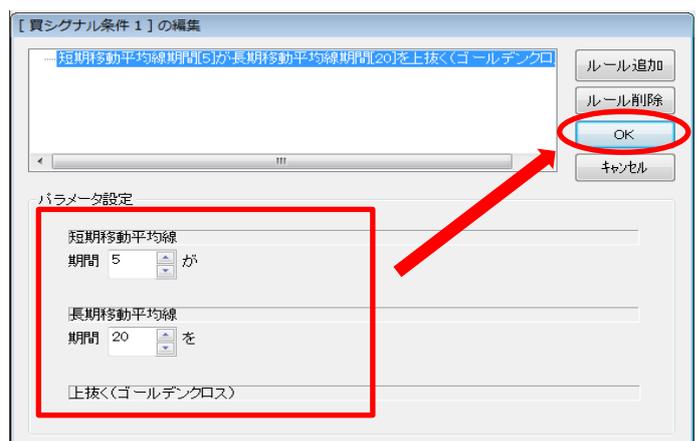
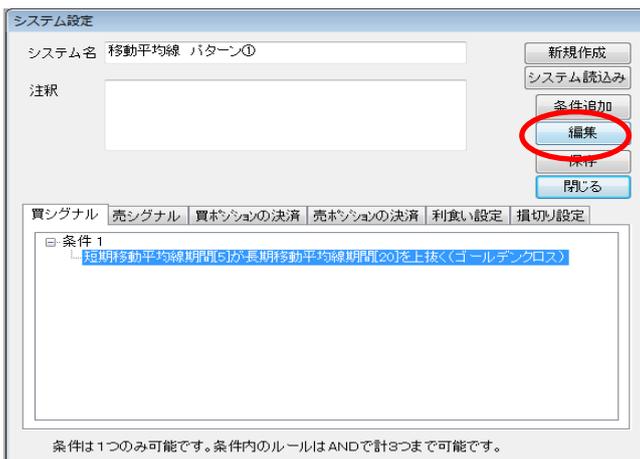
選択したいシステムを ボタンで簡単に検索することができます。

《ご注意》

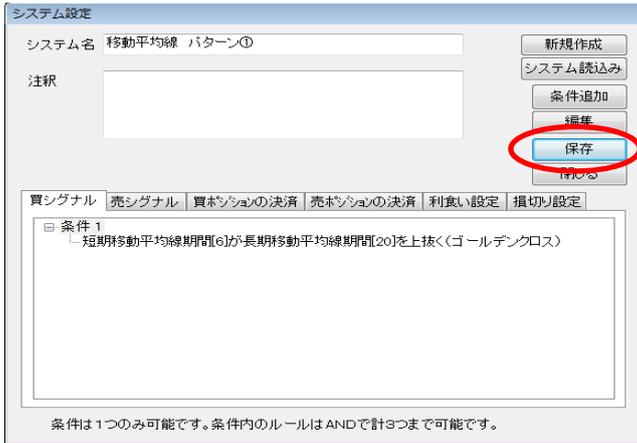
- ・検索対象は、システム名、注釈、売買ルールとなります。
- ・AND検索時の語句数の上限は、10個までとなります。
- ・検索後に再検索すると最初の検索後からさらに絞り込みが行われます。その為、最初から検索を行いたい場合は、 ボタンをクリック下さい。
- ・大文字小文字は区分しません。(例: rsi と RSI)
- ・全角半角は区分します。(例: RSI と RSI)

④ 編集したいルールを選択後、「編集」をクリックします。

⑤ ルール編集後「OK」をクリックします。



⑥設定が完了したら「保存」をクリックします。



※ルールを追加する場合は「ルール追加」ボタンをクリックします。

売買シグナルを削除する

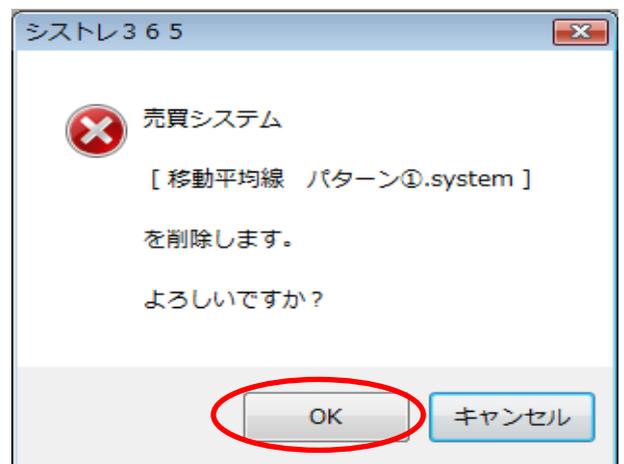
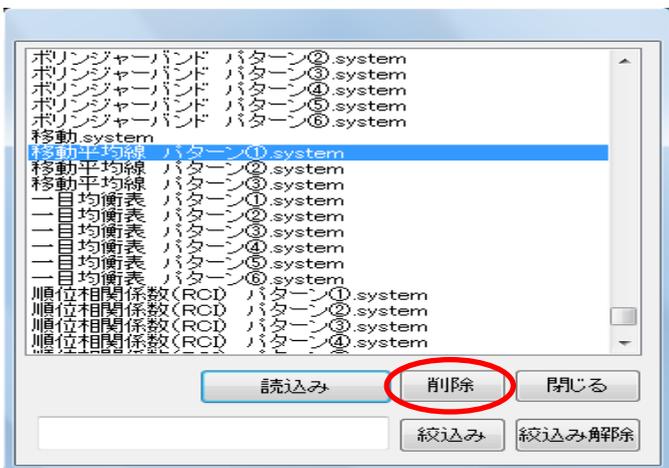
①ツールバーにある「システム設定」を選択します。

②「システム読み込み」をクリックします。

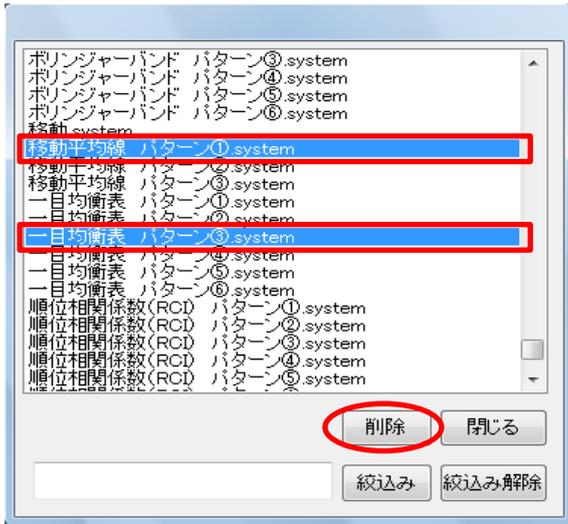


③削除するシステム名を選択し、「削除」をクリックします。

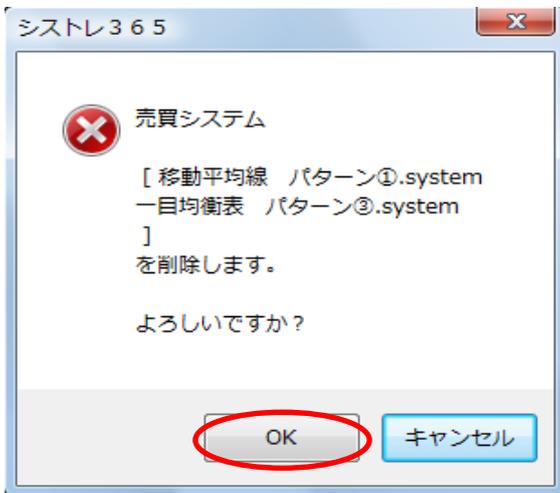
④「OK」をクリックすると削除が完了します。



《同時に複数削除したい時》



①パソコンキーボード上の【 Ctrl 】キーを押しながら、削除するシステム名をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。



②「OK」ボタンをクリックすると保存していたシステムが同時に複数削除されます。

※自動運転中のシステムは削除できませんのでご注意ください。

(2) バックテスト

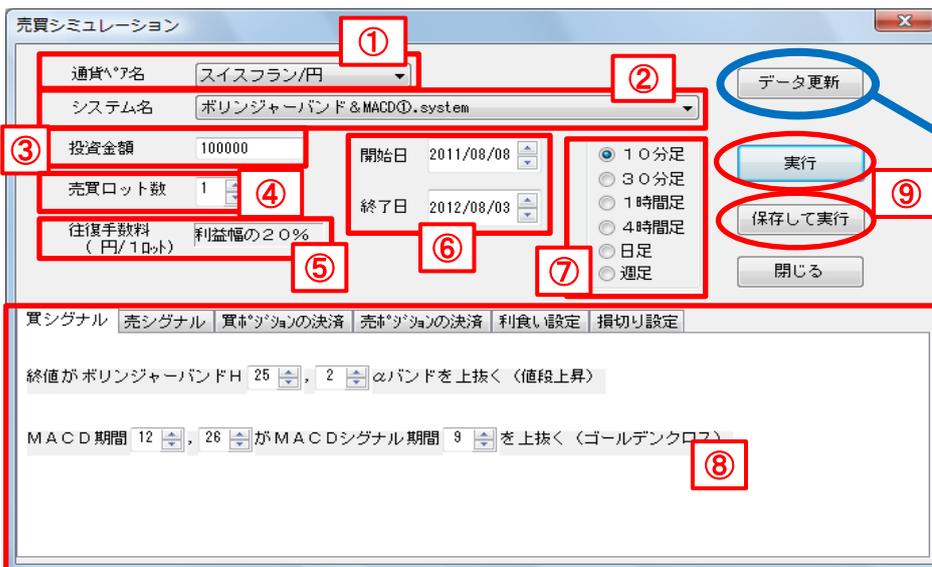
シミュレーションをする

バックテストとは過去のデータを使ってあるルールで過去に売買を行っていた場合、どのような結果が得られていたかをシミュレーションすることです。
 売買シミュレーションの各項目にて条件を選択すると過去データが表示されます。

① ツールバーにある「シミュレーション」を選択する。



② 通貨ペア、投資金額、ロット数、シミュレーション期間などを設定し、「OK」ボタンをクリックします。



シミュレーションをする前に...

シミュレーションを行う時は「データ更新」ボタンをクリックして下さい。

※シミュレーションを行うデータは自動更新されません。その為、「データ更新」ボタンをクリックせずにシミュレーションを行うと前回データ更新をした時のデータでシミュレーションが行われます。

① 銘柄名

シミュレーションをする銘柄を選択します。

② システム名

プルダウンし、システム名を選択します。

③ 投資金額

シミュレーションする投資金額を入力します。

④ 売買ロット数

売買を行う枚数を入力します。

⑤ 往復手数料

利益額の20%が取引手数料として計算されます。

⑥開始日 / 終了日

シミュレーションを行う期間を設定します。

※10分足は1年以内、30分足、1時間足、4時間足は2年以内、日足・週足は5年以内で設定して下さい。設定可能範囲を超えますとエラーメッセージが表示されます。

⑦時間足

シミュレーションを行う時間足を選択します。

⑧パラメータ表示

(1)②で選択したシステムのパラメータが表示されます。

(2)表示しているシステムのパラメータ設定を変更することができます。

※弊社オリジナルシステムのパラメータは表示されません。また、変更もできません。

⑨実行 / 保存して実行

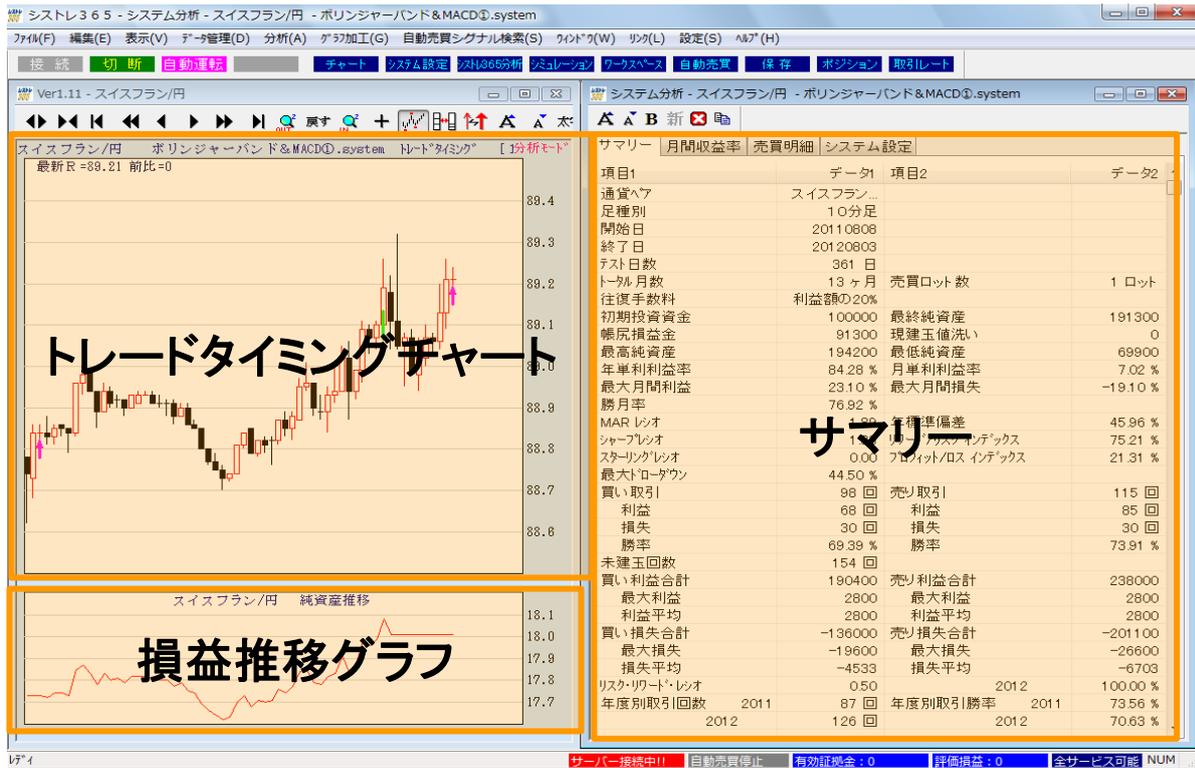
設定変更後、 ボタンをクリックします。 ボタンをクリックすると設定が保存されます。

※自動運転中のシステムは、保存して実行することはできません。

※ご注意事項※

シミュレーションの期間を短く設定されますとシミュレーションができない場合があります。その場合は、エラーメッセージが表示されますので、シミュレーションの期間を長く設定してから再度シミュレーションを行って下さい。(例:日足で期間を2011/1/25~2011/1/28で設定した場合などを指します。)

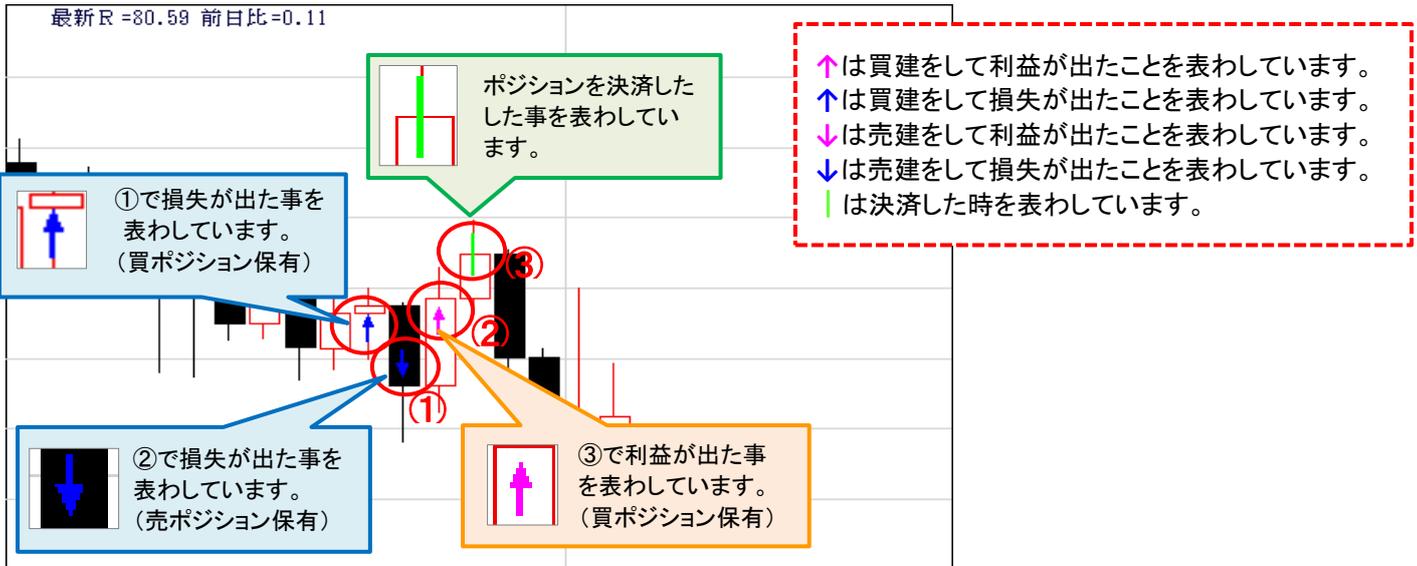
※シミュレーション期間の下限は使用するテクニカル指標によって異なります。



《トレードタイミングチャート》

トレードタイミングチャート画面の矢印の位置で売買のタイミングを確認します。
チャートの矢印の向きは、買建(↑)、売建(↓)を表わしています。

アイコンの説明



チャートに表示される矢印の色は利益または損失を表わしています。
シミュレーションにおいて、計算終了日時点でポジションを保有中の場合は、シミュレーションを行った時点のデータで利益または損失が出ているのかを表します。その為、ポジション保有時と足が完成した後とは利益と損失の色が逆転する場合があります。

《損益推移グラフ》

損益推移グラフでは合計損益額の推移を確認します。
開始期間からグラフが上昇していれば利益が出ていることになりませんが、反対にグラフが下降していてその谷が深ければ深いほど損失額が大きいということになり、リスクが高い売買条件と言えます。

《サマリー》

シミュレーションの計算が完了すると、サマリーが表示されます。

「サマリー」タブではシミュレーション期間の取引回数や利益合計、損失合計、最大ドローダウンなどを確認します。

サマリー	月間収益率	売買明細	システム設定	
項目1	データ1	項目2	データ2	
(1) 通貨ペア	スイスフラン...			
(2) 足種別	10分足			
(3) 開始日	20110808			
(4) 終了日	20120803			
(5) テスト日数	361 日			
(6) トータル月数	13 ヶ月	売買ロット数	1 ロット	
(7) 往復手数料	利益額の20%			
(8) 初期投資資金	100000	最終純資産	191300	(8)
(9) 帳尻損益金	91300	現建玉値洗い	0	(10)
(11) 最高純資産	194200	最低純資産	69900	(12)
(13) 年単利利益率	84.28 %	月単利利益率	7.02 %	(14)
(15) 最大月間利益	23.10 %	最大月間損失	-19.10 %	(16)
(17) 勝月率	76.92 %			
(18) MAR レシオ	1.89	年標準偏差	45.96 %	(19)
(20) シャープレシオ	1.83	リターン/リスク インデックス	75.21 %	(21)
(22) スターリングレシオ	0.00	プロフィット/ロス インデックス	21.31 %	(23)
(24) 最大ドローダウン	44.50 %			
(25) 買い取引	98 回	売り取引	115 回	
(26) 利益	68 回	利益	85 回	
(27) 損失	30 回	損失	30 回	
(28) 勝率	69.39 %	勝率	73.91 %	
(29) 未建玉回数	154 回			
(30) 買い利益合計	190400	売り利益合計	238000	(36)
(31) 最大利益	2800	最大利益	2800	
(32) 利益平均	2800	利益平均	2800	
(33) 買い損失合計	-136000	売り損失合計	-201100	(37)
(34) 最大損失	-19600	最大損失	-26600	
(35) 損失平均	-4533	損失平均	-6703	
(38) リスク/リターン・レシオ	0.50	2012	100.00 %	
(39) 年度別取引回数	2011 87 回	年度別取引勝率	2011 73.56 %	(40)
	2012 126 回	2012	70.63 %	

(1) 売買システム

売買システムの名称。

(2) 通貨ペア

運用した通貨ペア。

(3) 開始日ー終了日

シミュレーションを行った期間。

(4) テスト日数

シミュレーションを行った期間の暦年の日数。

(5) トータル月数

シミュレーション期間の月数。

(6) 往復手数料

1枚あたりの往復手数料。

(7) 初期投資資金

この売買システムで運用する元金。(単位は円)

(8)最終資産

テスト期間の最終日における純資産額。(単位は円)

$$(8) = (7) + (9) + (10)$$

(9)帳尻損益金

取引によって確定した損益金の合計。

$$(9) = (30) + (33) + (36) + (37)$$

(10)現建玉値洗い

シミュレーション期間最終日に未決済の建玉の値洗い。

(11)最高純資産

シミュレーション期間中で最も純資産が増えた時の金額。

(12)最低純資産

シミュレーション期間中で最も純資産が少なくなった時の金額。

(13)年単利利益率

再投資処理(複利運用)せず、常に初期投資資金で運用して得た利益の初期投資資金に対する年利益率。

$$(13) = ((9) + (10)) \div (7) \div (5) \times 12 \times 100$$

(14)月単利利益率

再投資処理(複利運用)をせず、常に初期投資資金で運用して得た利益の初期投資資金に対する月利益率。

$$(14) = ((9) + (10)) \div (7) \div (5) \times 100$$

(15)最大月間利益

シミュレーション期間中の月間収益率がプラスであった月のうち最大のもの。(その月の純利益を初期投資資金で除したもの)

(16)最大月間損失

シミュレーション期間中の月間収益率がマイナスであった月のうち最大のもの。(その月の純損失を初期投資資金で除したもの)

(17)勝月率

シミュレーション期間中で収益率がプラスであった月数のトータル月数に対する割合。

(18)MARレシオ

リスクに対するリターンの割合を表わす指数で、数値は高いほど良く、一般的には1以上が良いとされる。

$$(18) = (13) \div (24)$$

(19)年標準偏差

年間収益率のばらつきの程度を表わす指標。年間収益率が55%で年標準偏差が18%だとすると、1年後の収益率が(55% - 18%)以上(55% + 18%)以下になる確率が68.3%ある。また、(55% - (18% × 2))以上(55% + (18% × 2))以下になる確率が95.5%ある。

(20)シャープレシオ

MARレシオと同じような指数で、リスク要因として年標準偏差を使う。一般的には1以上が良いとされる。

$$(20) = (13) \div (19)$$

(21)リワード/リスクインデックス

帳尻損益金を、帳尻損益金と(初期投資資金 - 最低純資産)を加えたもので除してえられる。運用資金が初期投資資金を上回る割合を表わしている。

$$(21) = (9) \div ((9) + (7) - (12))$$

(22)スターリングレシオ

過去3年間の平均収益率をその各年における最大下落率の平均値プラス10%で除したもの。1より高い比率が良いとされる。

(23)プロフィット/ロス・インデックス

帳尻損益金を、利益取引で得た益金合計と現建玉値洗いを加えたもので除したものの。得た利益金が最終的にどれだけ残っているかを表わす。

$$(23) = (9) \div ((30) + (36) + (10)) \times 100$$

(24)最大ドローダウン

最高純資産から最も損失が大きかったところまでの落ち込み幅(初期投資額に対する下落率)

(25)買い取引

シミュレーション期間中での買取引の回数。

(26)利益

買い取引のうち利益になった回数。(手数料控除済み)

(27)損失

買い取引のうち損失になった回数。(手数料控除済み)

(28)勝率

買い取引で利益になった回数の買い取引回数に対する割合。

$$(28) = (26) \div (25) \times 100$$

(29)未建玉回数

シミュレーション期間中で建玉の無かった回数。

(30)買い利益合計

買い利益取引で得た純利益の合計額。

(31)最大利益

1回の買い取引で得た純利益の最大の額。

(32)利益平均

1回の買い取引で得た純利益の平均額。

$$(32) = (30) \div (26) \times 100$$

(33)買い損失合計

買い損失取引で得た純損失の合計額。

(34)最大損失

1回の買い取引で得た純損失の最大の額。

(35)損失平均

1回の買い取引で得た純損失の平均額。

$$(35) = (33) \div (27) \times 100$$

(36)売り利益合計

売り利益取引で得た純利益の合計額。

(37)売り損失合計

売り損失取引で得た純損失の合計額。

(38)リスク・リワード・レシオ

1トレードあたりの平均利益 ÷ 1トレードあたりの平均損失
(利益合計 ÷ 利益取引回数) ÷ (損失合計 ÷ 損失取引回数)

(39)年度別取引回数

各年度に行われた売買回数。

(40)年度別取引勝率

各年度に行われた売買のうち、純利益のでた売買回数の割合。

《月間収益率》

シミュレーションを実施した通貨ペアの月間の利益率、損益額、純資産を表示します。

年-月	利益率	月間損益	純資産
11年08月	6.90%	6900	106900
11年09月	19.10%	19100	126000
11年10月	-19.10%	-19100	106900
11年11月	11.60%	11600	118500
11年12月	20.70%	20700	139200
12年01月	2.60%	2600	141800
12年02月	11.00%	11000	152800
12年03月	19.60%	19600	172400
12年04月	-8.10%	-8100	164300
12年05月	23.10%	23100	187400
12年06月	-11.90%	-11900	175500
12年07月	12.10%	12100	187600
12年08月	3.70%	3700	191300

(1) 年-月

シミュレーションを行った年と月が表示されます。

(2) 利益率

月間取引の利益の割合が表示されます。

(3) 月間損益

取引した通貨ペアの損益が金額表示されます。

(4) 純資産

預託証拠金に決済損益を加算した金額が表示されます。

《売買明細》

各取引における約定価格や損益額などの詳細を確認することができます。

売/買	建玉日	価格	落玉日	価格	通貨数	粗利益	投資助言料	純利益	累計
① 買	20110808	③ 104.47	20110810	④ 104.82	10000	⑥ -3500	⑦ 700	⑧ 2800	⑨ -23800
買	20110810	105.16	20110810	105.51	10000	3500	700	2800	-21000
買	20110810	106.86	20110810	107.21	10000	3500	700	2800	-18200
売	20110810	105.62	20110810	105.27	10000	3500	700	2800	-15400
売	20110811	104.37	20110811	104.02	10000	3500	700	2800	-12600
買	20110812	101.35	20110812	100.79	10000	-5600	0	-5600	-18200
売	20110812	100.79	20110812	100.44	10000	3500	700	2800	-15400
売	20110815	97.24	20110815	96.89	10000	3500	700	2800	-12600
売	20110815	96.86	20110815	96.51	10000	3500	700	2800	-9800
買	20110816	98.13	20110816	98.48	10000	3500	700	2800	-7000
売	20110817	96.32	20110817	95.97	10000	3500	700	2800	-4200
買	20110821	⑩ 97.48	20110822	97.83	10000	3500	700	2800	-1400
買建(売建)		96.61	20110824	96.84	10000	-2300	0	-2300	-3700
買	20110824	96.84	20110824	96.69	10000	-1500	0	-1500	-5200
売	20110824	96.69	20110825	96.88	10000	-1900	0	-1900	-7100

① 売/買

ポジションが買いか売りのかを表示します。

② 建玉日

ポジションが建った日付

③ 価格

新規約定価格

④ 落玉日

ポジションを決済した日付

⑤価格

決済約定価格

⑥粗利益

取引における損益額

⑦投資助言料

売買利益の20% (損失の場合は0円)

⑧純利益

粗利益額から手数料を差し引いた額

⑨累計

累計損益額

⑩買建(売建)

建玉中の場合に表示されます。(建玉中の場合にはシミュレーション計算終了時点のレートが表示されます)

《システム設定》

シミュレーションを実施した売買ルールにおけるパラメータを確認することができます。

サマリー	月間収益率	売買明細	システム設定
①	システムルール ボリンジャーバンド & MACD①.system		
②	< 売買システム > 買シグナル 条件 1 終値がボリンジャーバンドH[25],[2]αバンドを上抜く(値段上昇) MACD期間[12],[26]がMACDシグナル期間[9]を上抜く(ゴールデンクロス) 売シグナル 条件 1 終値がボリンジャーバンドH[25],[2]αバンドを下抜く(値段下降) MACD期間[12],[26]がMACDシグナル期間[9]を下抜く(デッドクロス) 買ポジションの決済 売ポジションの決済 利食い設定 条件 1 利食いPips[35]Pips以上 損切り設定 <END>		

①システムルール

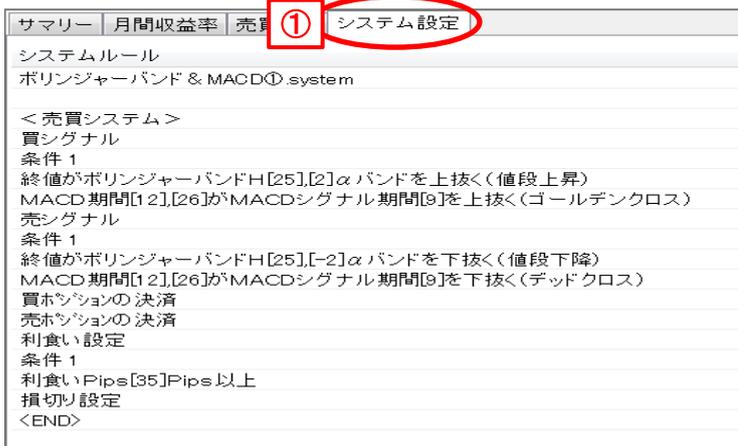
設定したシステム名が表示されます。

②売買システム

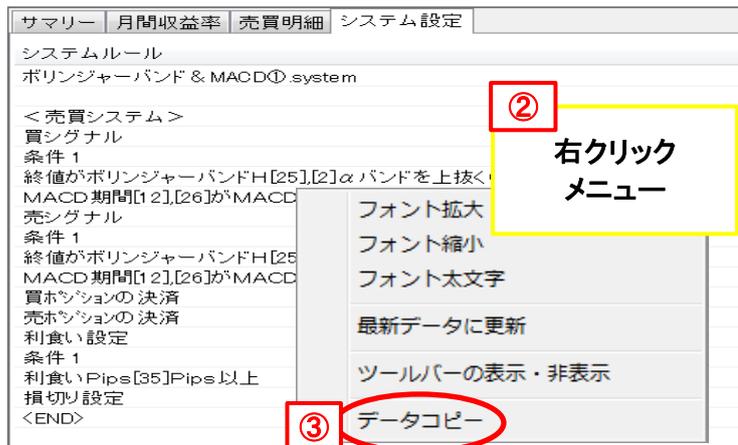
設定したパラメータが表示されます。

《明細をコピーする》

システム分析ウィンドウの各項目、サマリー・月間収益率・売買明細・システム明細 をコピーし、エクセルに貼り付けることができます。



システム分析ウィンドウで、コピーしたい明細のタブをクリック(①)します。



表示された画面内で右クリック(②)し、メニュー画面から「データコピー」をクリック(③)後、エクセルを立ち上げ貼り付け(ペースト)するとデータが出力されます。

フォント拡大

文字のサイズを拡大します。

フォント縮小

文字のサイズを縮小します。

フォント太文字

文字を太字にします。

最新データに更新

最新のデータに更新します。

ツールバーの表示・非表示

ツールバーを表示・非表示に切り替えます。

データコピー

表示しているデータをコピーします。

check !!!



システム分析ウィンドウ内のアイコン をクリックし、明細をデータコピーすることもできます。

※ご注意※

- (1) シミュレーションでの約定価格は全てBID(売)レートでの約定となります。本番環境ではスプレッド(BID、ASKの差)が存在しますので、収益が悪化致します。
- (2) シミュレーションではロスカット及び強制決済は考慮されておられません。
その為、最終純資産がプラスになっていてもシミュレーションを実施した期間に大きな損失が出ている場合、実際の取引においてはロスカットや強制決済が執行される場合もございますのでご注意ください。
- (3) 設定されたシステムでは、ローソク足が完成した時点でシグナルが発生しますが、シミュレーションや本番での自動売買は、シグナルが発生した次の足の始値で売買執行いたしております。
また、シミュレーションでは始値で売買成立いたしておりますが、本番での自動売買は、発注のタイミングによって、約定価格がシミュレーションと異なる場合がございます。

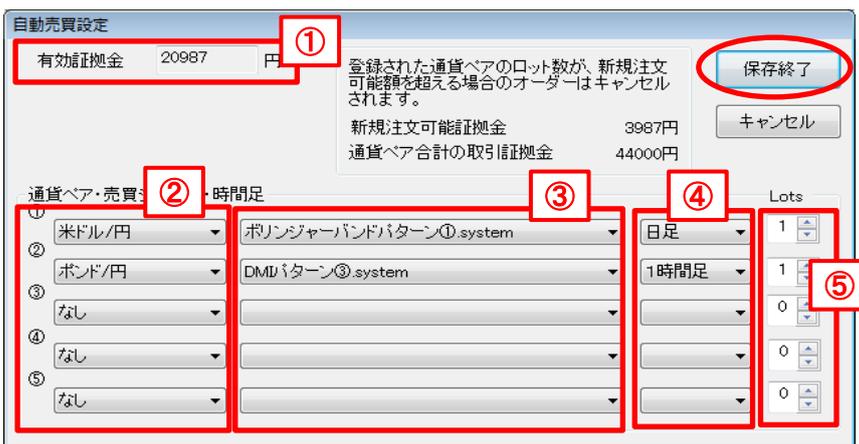
(3) 自動売買

自動売買を設定する

① ツールバーにある「自動売買」を選択する。



② 自動売買設定画面に必要な項目を入力し、「保存終了」をクリックすると自動売買設定が保存されます。



※上記画面はメニューバーの「設定」→「自動売買設定」からも表示して頂けます。

① 有効証拠金

口座資産から評価損益と出金依頼額を差し引いた金額が表示されます。

② 通貨ペア

取引を行う通貨ペアを選択します。

※最大5通貨ペアまで設定が可能で、同じ通貨ペアを複数設定することは出来ません。

③ システム名

システム名(ストラテジー)を選択します。

④ 時間足

10分足・30分足・1時間・4時間・日足・週足の中からご希望の時間足を選択します。

⑤ 売買数量

お取引を行う数量(単位=枚)を入力します。

※1回の発注可能枚数の上限は100枚となります。

自動売買を開始する

① ツールバーにある「自動運転」をクリックする。



② 自動売買設定画面で必要項目を入力し、「売買スタート」をクリックすると、自動売買が開始します。

自動売買設定

有効証拠金 20887 円

登録された通貨ペアのロット数が、新規注文可能額を超える場合のオーダーはキャンセルされます。

新規注文可能証拠金 3887円
通貨ペア合計の取引証拠金 44000円

売買スタート (highlighted)
キャンセル

通貨ペア・売買システム・時間足

①	通貨ペア	売買システム	時間足	Lots
①	米ドル/円	ボリンジャーバンドパターン①.system	日足	1
②	ポンド/円	DMMパターン③.system	1時間足	1
③	なし			0
④	なし			0
⑤	なし			0

左記画面はメニューバーの「リンク」→「自動売買スタート」からも表示して頂けます。

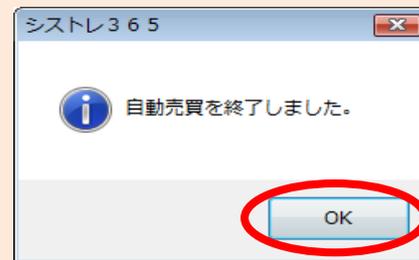
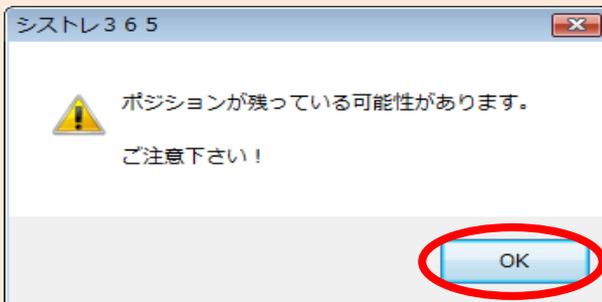
※自動運転中の売買システムは設定の変更ができません。

自動売買を終了する

①自動売買を停止する場合は、ツールバーから「運転停止」ボタンをクリックします。



◆ポジションが残っている場合は下記の確認画面が表示されます。



※ご注意※

(1) 自動売買運転中に運転を停止してしまいますと自動売買は行われませんので、ポジションが残っている場合はポジションの持ち越しにご注意下さい。また、お客様のパソコンがダウンした場合や、何らかの理由で「Sistrel365」が切断されてしまった場合なども同様に自動売買は行われません。この場合は、それまでに約定されたポジションが残り、更にそのポジションに対する指値・逆指値注文が登録されている場合はその登録注文も残ります。

(2) Sistrel365では、チャート分析をBID(売)レートで行います。

その為、買い決済の利食い・損切りを入れている場合、ASK(買)レートでは指定レートに達していなくても、BID(売)レートで指定レートに達している際は、次のシグナル判定時にBID(売)レートを見て、指定レートに達していると判断し約定されますので予めご了承ください。

例) 売り注文に対して買いで利食い78.000を発注した場合

- ① ASK(買)レートは78.005で指定レートに達していない
- ② BID(売)レートは78.000で指定レートに達している

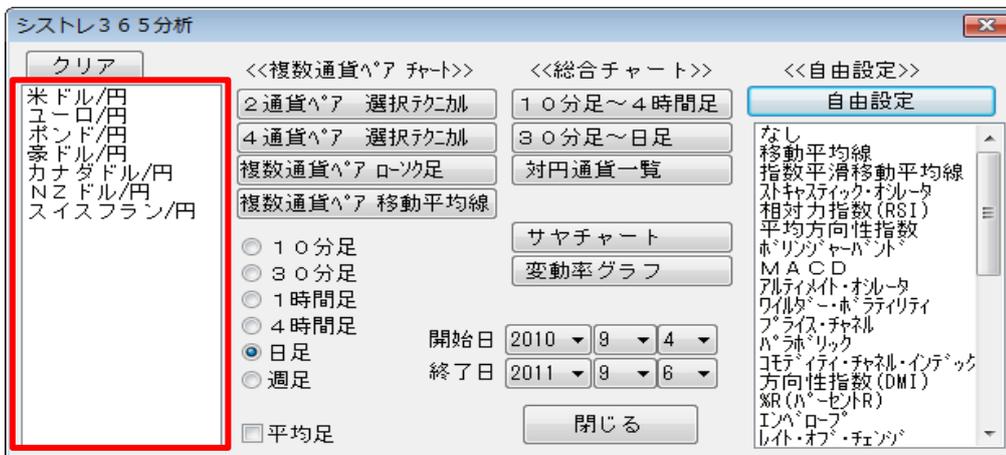
この場合、決済注文の売買区分はASK(買)の為、約定はされないが、BID(売)レートが指定レートに達しているので、次のシグナル判定時に成行で決済されます。

7. その他の機能

シストレ365分析

シストレ365分析とはオリジナルの売買シグナルとチャートを組合せ、様々な角度から分析ができるように設定されたメニューです。

左端の通貨ペアリストから通貨ペアを選択し、それぞれのボタンを押すと設定されたチャートが表示されます。「複数通貨ペアチャート」を表示する場合は、通貨ペアリストで複数選択します。

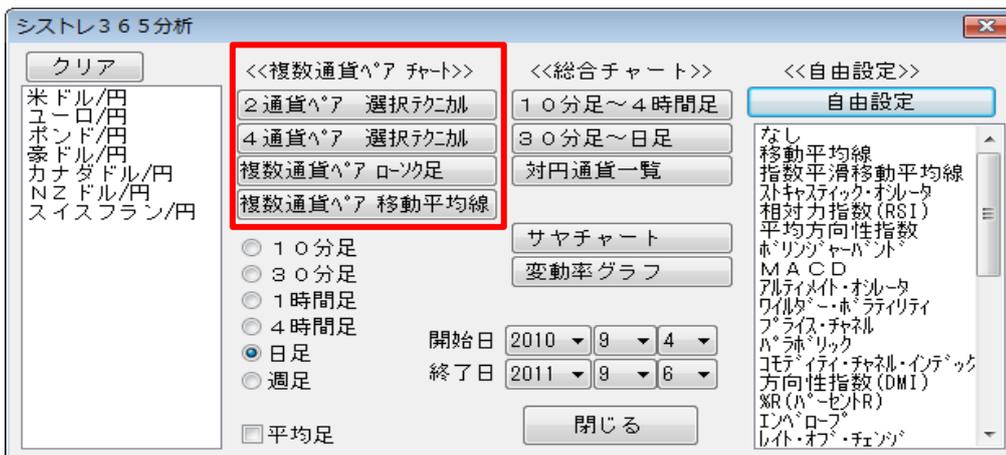


《複数通貨ペア チャート》

通貨ペアを組み合わせる場合に便利なチャートがセットされています。左端の銘柄リストから複数の銘柄を選択し、ボタンをクリックします。「複数銘柄チャート」には下記6タイプがあります。

- (1) 2通貨ペア 選択テクニカル
- (2) 4通貨ペア 選択テクニカル
- (3) 複数通貨ペア ローソク足
- (4) 複数通貨ペア 移動平均線

選択テクニカルというのは右端のテクニカル指標リストで選択したテクニカル指標が表示されます。移動平均線のようなローソク足と同じ領域に表示されるテクニカル指標を選択するとデフォルト設定でRSIが表示されます。



現在注目している通貨ペアをセットにして表示したり、比較して分析するとよい通貨ペアを一緒に表示したりしてテンプレート保存しておくとう便利です。

《総合チャート》

「総合チャート」は、市場全体の動向など、個別通貨ペアの分析にあたって大局をとらえるチャートがセットされています。

通貨ペアを選択しボタンをクリックします。売買シグナルは作成時には何も表示されません。自由に選択して表示できます。

(1)10分足～4時間足

10分足・30分足・1時間足・4時間足の4種類のチャートを1つのウィンドウに表示します。

(2)30分足～日足

30分足・1時間足・4時間足・日足の4種類のチャートを1つのウィンドウに表示します。

(3)対円通貨一覧

全通貨ペア(7通貨ペア)のチャートを1つのウィンドウに表示します。

(4)サヤチャート

通貨ペアの比差チャートや比価チャートを表示します。

「サヤチャート」→鞘チャート設定画面で通貨ペア2種類選択しサヤ計算式や表示方法を設定したら「OK」をクリックします。

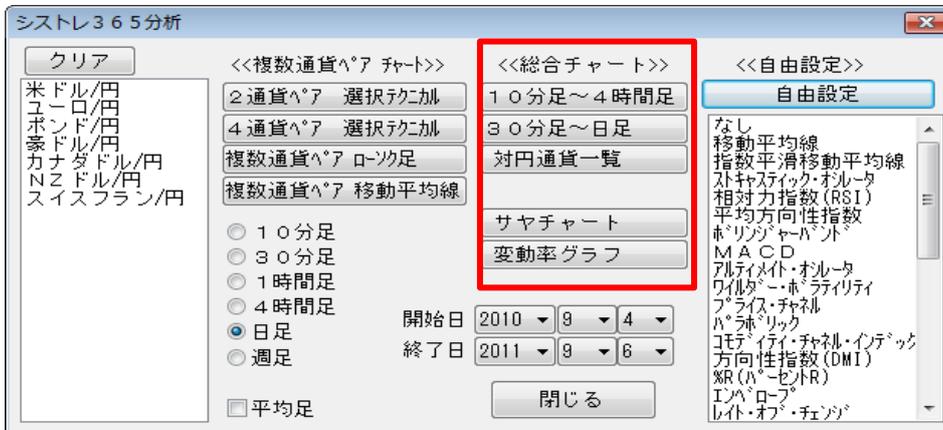
(5)変動率グラフ

値段を変動率に変換したグラフを表示します。

左側の通貨ペアリストから通貨ペアを選択します。(全通貨ペア選択可能)

表示期間の最初を100としてそこからの変動率でグラフを表示します。

通貨ペア間の変動率の違いなどを比較できます。

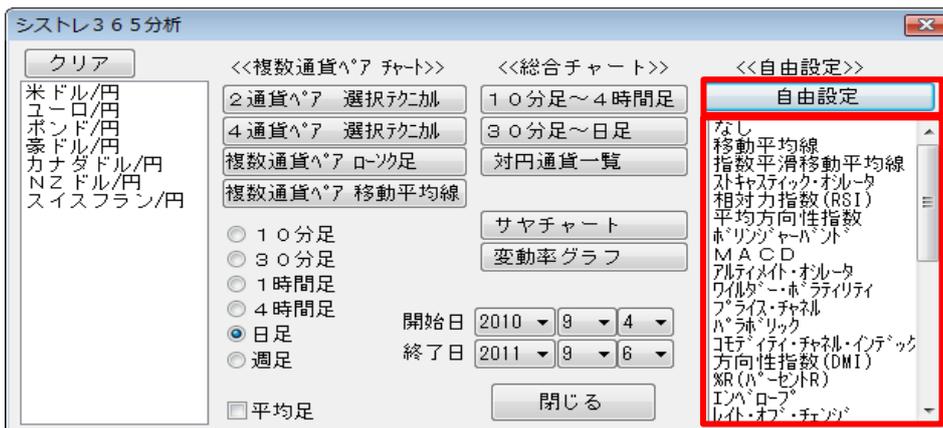


《自由設定》

自由設定では基本的なチャート分析と同じ機能を提供します。

左端の通貨ペアリストから通貨ペアを選択し、右端のテクニカル指標リストからテクニカル指標を選択して「自由設定」ボタンをクリックします。

一度に選択できる指標は最大8種類までとなります。



通知メール設定

シストレ365と取引プラットフォームの接続が切れた際にメールを送信する機能がございます。
 (口座開設申込み時に「携帯メールアドレス」をご登録された方は自動的にご登録頂いたメールアドレスに「お知らせメール」が送信されます。)
 「お知らせメール」の配信先の設定または変更は下記の手順で可能です。

メインメニューにある「設定」→「携帯メールアドレス設定」を選択し”新アドレス”にメールアドレスを入力したら「変更」をクリックします。

現在通知メール送信先に設定しているアドレスが表示されます。
 ※口座開設申込み時に「携帯電話メールアドレス」をご登録された方はここに登録したメールアドレスが表示されます。

お知らせメールの配信先を設定または変更する場合は、ここにメールアドレスを入力し「変更」をクリックします。
 ※お知らせメールが不要の場合には当該項目を空白にして変更することで登録が削除されます。

8. 便利な機能

右クリックメニュー

チャート上でマウスを右クリックをすると下記のようなポップアップメニューが表示されます。



①十字カーソル

詳細は『12ページ-⑭』をご参照ください。

②最新値表示

チャートを最新のデータに更新します。

③通貨ペア選択

現在表示しているチャートの通貨ペアを変更します。詳細は『16ページ』をご参照ください。

④日数設定変更

シストレ365で使用可能なテクニカル指標にはデフォルト値が設定されています。この設定値を変更する場合に使用します。詳細は『18ページ』をご参照ください。

⑤テクニカル変更・消去

表示されているテクニカル指標を別の指標に変更する際や消去する際に使用します。詳細は『19ページ』をご参照ください。

⑥テクニカル追加

チャートにテクニカル指標を表示・追加します。詳細は『17ページ』をご参照ください。

⑦チャート表示

チャートを新たに表示します。詳細は『15ページ』をご参照ください。

⑧シストレ365分析

オリジナルの売買シグナルとチャートを組合せ、様々な角度から分析ができるように設定されたメニューです。詳細は『47ページ』をご参照ください。

⑨チャートプロパティ

チャート内に表示されているグリッド線の表示・非表示やロウソク足の太さを変更するなど、チャートのプロパティを変更することができます。詳細は『22ページ』をご参照ください。

⑩カラー設定

チャートの色を設定することが出来ます。詳細は27ページをご参照ください。

⑪印刷

チャートを印刷します。詳細は『28ページ』をご参照ください。

⑫編集

「編集」では、マウスをあてると新たにポップアップメニューが表示されます。

・表示を初期状態に戻す

チャートを作成した後に表示期間を変更したり、フォントサイズを変更したりした状態を初期状態に戻します。

※描画したオブジェクトは削除されません。オブジェクトはメインメニューにある「編集」→「全オブジェクト削除」、もしくは右クリック→「編集」→「全オブジェクト削除」で初期状態に戻します。

・テキストデータ(コピー&ペースト)

チャートに表示されているデータをスプレッドシートに表示します。

表示されたデータをエクセルにコピーしたり、エクスポートすることが可能です。

詳細は『52ページ』をご参照ください。

・全オブジェクト削除

チャート上に描画したオブジェクトを削除します。

・グラフ削除

チャート画面で選択されたグラフ領域が削除されます。

・全画面コピー

チャート画面全体をコピーします。コピーされたチャート画像はエクセルなどに張り付けることができます。

・指定範囲コピー

チャート画面のコピーしたいところでドラック&ドロップをすると選択した部分だけをコピーすることができます。

コピーされたチャート画像はエクセルなどに張り付けることができます。

⑬グラフ削除

選択されているグラフをチャート画面上から削除します。

グラフ上で右クリックすると選択されたグラフの輪郭に影が表示され、どのグラフが選択されているかがわかります。

アクセラレータ・キー

チャート上でキーボードのキーを押すと以下の操作を行うことができます。

キー	操作
F1	デフォルト登録チャートを表示する
F2	シストレ365分析のメニューを表示する
F3	チャート表示のメニューを表示する
F11	チャートの表示間隔を縮小する
F12	チャートの表示間隔を拡大する
0	ローソク足を表示する
→	画面を右へスクロールする
←	画面を左へスクロールする
Space	売買シグナルを表示(非表示)する
Home	情報ウィンドウを表示(非表示)する
PgUp	フォントサイズを大きくする
PgDn	フォントサイズを小さくする
Esc	表示中のウィンドウ(ダイアログ)を閉じる
B	フォントの太さを太字にする
P	天井・底値段を表示する

データ出力

チャートに表示されているデータをコピーします。

このデータをエクセルに貼り付けたり、エクスポートすることが可能です。ご自分でデータ加工をしたい場合にご利用ください。

※ローソク足や指標などがいくつかのチャートに分かれて表示されている場合は、それぞれのチャートの範囲で右クリックし、「編集」→「テキストデータ(コピー&ペースト)」を選択して表示して下さい。
クリックした場所にあるチャートや指標のデータが表示されます。

チャート画面が選択されている状態で、メインメニューにある「編集」→「テキストデータ(コピー&ペースト)」をクリック後、エクセルを立ち上げ貼り付け(ペースト)するとデータが出力されます。



POINT !

画面に表示されている期間のデータが表示されますので、長い期間のデータが必要な場合は、「設定」→「画面動作設定」の「初期データ表示数」の期間を長くしてから、チャートを表示して下さい。

4本値表示

メインメニューにある「グラフ加工」-「4本値表示」から、過去のデータをチャートと一緒に表示することができます。



レイアウトを変更すれば、表示日数を変更することができます。
メインメニューにある「グラフ加工」-「過去データ表示期間変更」より、表示開始日を指定することができます。

利益曲線表示

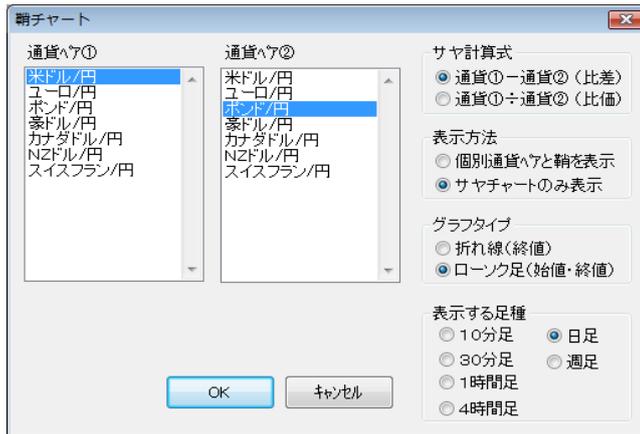
利益曲線はチャート上に表示されている売買シグナルに従って取引した場合に、どれだけの損益が発生したかをグラフに表示します。



現在表示されているチャートに利益曲線を追加する場合は、メインメニューにある「グラフ加工」-「テクニカル追加」より、「利益曲線」を追加してください。

サヤチャート表示

色々な銘柄の比差チャートや比価チャートを表示することができます。
ツールバーにある「チャート」→「サヤチャート表示」をクリックします。



◆サヤ計算式

①「比差」、②「比価」からタイプを選択します。

◆表示方法

対象になっている通貨ペアのチャートとサヤチャートの3種類を表示するか、サヤチャートのみを表示するか選択します。

◆グラフタイプ

終値どうしのサヤを折れ線グラフで表示するか、始値と終値で1日のサヤの変化をローソク足で表示するか選択します。

◆表示する足種

時間軸を選択します。

複数時間枠チャート表示

4種類の時間枠チャートを1つのウィンドウに表示します。チャートは自動更新されません。

メニューバーにある「分析」→「複数時間枠チャート1」または「複数時間枠チャート2」をクリックします。



売買シグナルも表示することが可能です。移動平均線などの指標は表示できません。